CyberLink

PowerDirector 8

ユーザーズガイド



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement ('EULA')の理解を補 助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を 払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきま しては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement (EULA):使用許諾契約書

当製品(以下「本ソフトウェア」という)の導入およびご利用の前に、以下の使用許 諾契約書(以下「本契約書」とする)をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に 承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロー ド、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾された ものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様(個人または法人のいずれであるかを問 いません)と CyberLink Corp.(以下「サイバーリンク」といいます)との間に締結さ れる法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示さ れる本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項 に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中 止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これに よりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコン ピュータヘインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用するこ とができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物 (以下「関連印刷物」といいます)の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リ バース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などは できないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する 場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフト ウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契 約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様 は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に 読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物 の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただく ものとします。これにより、当該ソフトウエアのご利用ライセンスは自動的に解除さ れます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他の すべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、そ の一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は 本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使 用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意された ものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなりま す。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコン テンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の 所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によっ て保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するもので はありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因し てお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関し て、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関 連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切 の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービス がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選 択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任 となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフト ウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購 入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。 お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを 含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コン ピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契 約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾にお ける法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

著作権

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全 部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコ ピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、CyberLink PowerDirector は情報、サービス、または CyberLink PowerDirector に関連して提供される製品についていかなる保証も行わない こと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性について いかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかな る保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CyberLink がこのソフトウェアまたは このパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失に ついて一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。 CyberLink PowerDirector は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent # 's: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996–2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation
	15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City
	Taipei 231, Taiwan
Web サイト	http://www.cyberlink.com
TEL	886-2-8667-1298
FAX	886-2-8667-1300

Copyright © 2009 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに	1
機能紹介	2
最新機能	2
DirectorZone	4
PowerDirector のバージョン	4
PowerDirector のモード	6
システム動作環境	7

ルーム 10 PiP オブジェクト ルーム10 トランジション ルーム11 音声ミキシング ルーム11 吹き替え録音ルーム11 チャプター ルーム11 字幕ルーム12 ライブラリー ウィンドウ12 Explorer ビュー12 -ラ[']イブラリー メニュー13 タイムラインに合わせる / タイムラインにスクロールする…14 ルーラーのサイズを変更する14 プレビュー ウィンドウ15

TV セーフ ゾーン (表示範囲) とグリッド ライン	16
デュアル プレビュー	16
メディアビューアー	17
作業領域の編集	17
タイムライン ビュー	18
ストーリーボード ビュー	21

キャプチャーの環境設定31 シーンの検出と音声の抽出を行う32

確認の環境設定	
キャプチャーの環境設定	
出力の環境設定	
DirectorZone の環境設定	

ストーリーを作成する...... 41

PowerDirector のプロジェクト	41
フロジェクトの縦横比を設定する	41
メディアを作業領域へ追加する	41
Magic Movie ウィザード	42
スライドショー デザイナー	42
動画、画像、音声を作業領域に追加する	46
ビデオ エフェクト、PiP オブジェクト、パーティクルコ	c フェク
ト、タイトル、トランジションを追加する	48
メディアを編集する	52
クリップを分割する	52
動画 / 音声クリップをトリミングする	52
クリップの所要時間を設定する	55
メディア クリップをミュートする	55
画像を編集する	56
画像 / 動画を補正 / 強調する	56
パワー ツール	56
フレーム固定エフェクト	57
時間情報	57
動画クリップのインターレース形式を設定する	57
動画クリップの縦横比を調節する	58
Magic ツールを使用する	
Magic Movie ウィザード	59
Magic Fix	59
Magic Motion	59
Magic Cut	61
Magic Style	61
Magic Music	62
エフェクトを修正する	62
ビデオ エフェクトを修正する	62

PiP オブジェクトを修正する63
PiP デザイナーで PiP エフェクトを修正する
パーティクル デザイナーでパーティクル エフェクトを修正する
69
タイトル デザイナーでタイトル エフェクトを修正する72
音声のミキシングと吹き替え
動画クリップから音声を分離する
音声クリップの音量レベルを変更する
吹き替えを録音する81
チャプター
チャプターを設定する82
チャプター サムネイルを設定する83
字幕
字幕を追加する
字幕を編集する83
テキスト ファイルから字幕をインポートする
字幕と会話を同期する84

動画作品を出力する......85

SVRT 情報を表示する	85
出力ウィンドウ	85
ファイルに出力する	
カムコーダーに出力する	89
動画を YouTube にアップロードする	91
動画を Facebook にアップロードする	92

ディスク コンテンツをインポートする	94
ディスク メニューの環境設定	94
テンプレートを選択する	95
ディスク メニューの環境設定をカスタマイズする	95
ディスクの環境設定	

ディスクに書き込む	102
ムービーをディスクに書込む	103
フォルダーを作成する	103
ディスクを消去する	103

付録	105
ホットキー	105
システムのホットキー	106
プロジェクトのホットキー	106
作業領域のホットキー	107
スマート ガイドのホットキー	108
メイン パネルのホットキー	108
ライブラリーのホットキー	109
キャプチャーのホットキー	110
吹き替えのホットキー	110
プレビュー ウィンドウのホットキー	110
タイトル デザイナーのホットキー	111
SVRT が適用される条件	112
ライセンスと著作権	113
Dolby Laboratories	113

テクニカル サ	ポートにお問い合わせになる前に	115
Web サポート		

索引		1	1	7	'
----	--	---	---	---	---

CyberLink PowerDirector

第1章:

はじめに

この章では、CyberLink PowerDirector と映像作品の作成手順の概要を紹介しま す。また、このバージョンのプログラムの概要、新機能の概要、システム動作 環境についても説明します。



注:当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに 変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

機能紹介

CyberLinkのデジタルビデオ編集ツールをご利用いただき、ありがとうござい ます。CyberLink PowerDirectorを使えば、BGM、吹き替え、特殊効果、トランジ ション効果などを盛り込んだプロ級のビデオムービーやフォトスライド ショーを作成することができます。動画をファイルに出力、YouTubeまたは Facebookに直接アップロード、ディスクに書き込み、メニュー作成などもできます。

最新機能

ここでは PowerDirector に搭載されている新機能を紹介します。

作業領域

- ・ Explorer ビュー
 - Explorer ビューを使って、メディア ライブラリーを管理。
- 動画プレビュー
 - フルスクリーンまたはセカンダリーディスプレイ(モニターやDV カムコーダーなど)で動画をプレビュー。
- 範囲の選択
 - 範囲セレクターでタイムライン上のメディアのセグメントを選択して、作品からコピー / 削除。
- ・ グリッド ラインおよび境界線
 - グリッド枠 (グリッド ラインおよび境界線)を使って、簡単に PiP お よびタイトルを配置。
- ・ 拡張可能な作業領域
 - ニーズに合わせて作業領域を拡張。
- ・ プレビュー ウィンドウでの拡大 / 縮小
 - 動画の PiP メディアを使用中にプレビュー ウィンドウで拡大 / 縮小 する便利なツール。

編集

- 最新のスライドショー デザイナー
 - スライドショーデザイナーを使って、セル、3D、ハイライト、スラ イドショーをカスタマイズ。
- ・ パワーツール

- パワーツールを使って、動画をクロップ、回転、逆再生、速度変更。
- ・ メディアの補正 / 強調
 - 動画を安定、明るさを調整、動画を強調。
 - 動画ファイル上の映像/音声ノイズの除去。
 - 画像の輝度調整、赤目除去、フォーカスの適用。
- ・ パーティクル デザイナー
 - パーティクル デザイナーを使って、雪などの PiP エフェクトを作成。
- トラックマネージャー
 - PiPトラックをタイムラインに追加し、同時に動画に最大9トラック まで適用可能。
 - 音楽トラックをタイムラインに追加し、同時に動画に最大3トラックまで適用可能。
- ・ コンテンツプレビュー
 - メディアビューアーを使って、フルスクリーンで動画作品をプレビュー。
 - デュアルディスプレイを有効にして、個々のディスプレイまたはカムコーダーで動画作品をプレビュー。

出力

- ・ 出力ウィンドウ
 - 最新デザインの[出力]ウィンドウで簡単に動画を出力。
- Facebook にアップロード
 - 動画作品を Facebook のページに直接アップロード。
- ・ タイムライン情報の共有
 - DirectorZone に作品のタイムライン情報を公開して、動画作品の作 成方法を共有。

ディスク作成

- ディスク作成ウィンドウ
 - 最新デザインのユーザーインターフェイス。
 - 複数の動画タイトルをディスクに追加。
 - ディスク全体のメニュー構造をプレビュー。
- ・ メニュー作成

マルチレイヤーのメニューや使いやすいメニューデザイナーを追加。

グリーン機能(省電力)と容量節約

- 自動シャットダウン
 - 動画の出力後、またはディスクへの書き込み後に、自動的にコン ピューターをシャットダウンすることで、電力節減が可能。
- ・ 一時ファイルを手動で削除
 - 一時ファイルを手動で削除することで、コンピューターの空き容量 を素早く確保。

その他

- ・ ユーザー インターフェイスに DirectorZone を搭載
 - DirectorZoneのPiPオブジェクト、タイトルテンプレート、パーティクルオブジェクト、ディスクメニューが、CyberLink PowerDirectorのユーザーインターフェイスからアクセス可能。
- CPU/GPU 最適化
 - 最新技術を採用し、動画を出力またはディスクに書き込む際に HD 動画コンテンツのレンダリングにおいて優れた性能を発揮。

DirectorZone

DirectorZone は、CyberLink PowerDirector のユーザーが作成した PiP オブジェクト、タイトル テンプレート、パーティクル オブジェクト、ディスク メニュー がダウンロードできるオンライン サービスです。自分で作成した作品を DirectorZone にアップロードして共有することもできます。

DirectorZone を利用するには、CyberLink PowerDirector ウィンドウ上部の [DirectorZone にサインイン]リンクをクリックします。DirectorZone の機能や サービスに関する詳細は、http://directorzone.cyberlink.com をご覧ください。

PowerDirector $\mathcal{O}\mathcal{N} - \mathcal{V} = \mathcal{V}$

CyberLink PowerDirector でご利用いただける機能は、コンピューターにインス トールされているバージョンによって異なります。また、対応ファイル形式、 編集機能、ディスク作成機能、およびその他の機能も、バージョンによって異 なります。 バージョンの詳細は、Readme ファイルを参照してください。CyberLink PowerDirector のバージョンとビルド番号を確認するには、プログラム右上の CyberLink PowerDirector のロゴをクリックします。

ソフトウェアのアップグレード

CyberLink では、ソフトウェアのアップグレードを提供しています。ソフトウェ アをアップグレードするには、[バージョン情報]ウィンドウにある[**アップグ レード**]ボタンをクリックしてください。[アップグレード]ウィンドウから、 CyberLink PowerDirector の新しいアップグレードやアップデートをダウンロー ドすることができます。新規のアップグレードを購入する場合、CyberLinkの購 入ページに移動します。

注:この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。

PowerDirector のモード

CyberLink PowerDirector には、[キャプチャー]、[編集]、[出力]、[ディスク 作成]のモードがあり、実行内容に応じて切り替えます。

モード	説明
キャプ チャー	さまざまな形式やソースからメディアをキャプチャーしま す。 詳細は、26 ページの「メディアをキャプチャーする」 を 参照してください。
編集	タイムラインに動画や画像を追加して、トランジション、 エフェクト、タイトルを追加するなどの編集作業を行いま す。詳細は、41 ページの「ストーリーを作成する」を参照し てください。
出力	作成した動画をファイル、カムコーダー (DV、HDV、HDD) に出力したり、YouTube または Facebook にアップロードし ます。 詳細は、85 ページの「動画作品を出力する」を参照し てください。
ディスク作 成	動画をディスクに書き込み、プロ品質のディスクを作成し ます。詳細は、93 ページの「ディスクを作成する」を参照し てください。

デフォルトでは、最初に編集モードが開きます。これらのボタンを押して、タ スク実行モードを切り換えます。

システム動作環境

ー般的なデジタル動画編集作業を行う場合の最小システム要件は以下の通りで す。

	システム動作環境
画面解像度	・ 1024 x 768、16 bit カラー以上
OS	・ Windows 7/Vista/XP (HDV キャプチャーには Windows XP Service Pack 2 が必要)
メモリー	 512 MB 推奨 HD 動画編集には 2GB DDR2 以上を推奨
CPU	 AVI キャプチャー / 出力: Pentium II 450 MHz また は AMD Athlon 500 MHz VCD 画質 (MPEG-1) プロファイル: Pentium III 600 MHz または AMD Athlon 700 MHz DVD 画質 (MPEG-2) プロファイル: Pentium 4 2.2 GHz または AMD Athlon XP 2200+ 高画質 (MPEG-4 および WMV、QuickTime、 RealVideo のストリーミング) プロファイル: Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2400+ AVCHD および MPEG-2 HD (BD/HD 書込み用) プロ ファイル: Pentium Core 2 Duo E6400 または Athlon 64 X2 5000+

	システム動作環境
ビデオ キャプ チャー デバイス	 WDM 規格準拠の PCI または USB1.0/2.0 キャプ チャーデバイス (PC カメラや WDM ドライバー対 応 TV チューナーなど) OHCI 対応 IEEE1394 接続 DV カムコーダー (対応モ デルは CyberLink Web サイトを参照) USB2.0 接続の DVD カムコーダー (対応モデルは CyberLink Web サイトを参照) Sony MicroMV/AVCHD/HDV カムコーダー (対応モ デルは CyberLink Web サイトを参照) JVC Everio カムコーダー (対応モデルは CyberLink Web サイトを参照)
ハードディスク容量	 5 GB (SmartSound Quicktrack Library には 400MB が 必要) DVD 出力には 10GB (20 GB 推奨) BD/HD/AVCHD 出力には 60GB (100GB 推奨)
書込みデバイス	 VCD/DVD/SVCD/AVCHD* への書き込みは、CDまたはDVD書き込みドライブ(CD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-R/RW)が必要 Blu-ray ディスク*への書き込みは、Blu-ray ディスク書き込みドライブが必要
マイク	 吹き替え録音にはマイクが必要

注:最新のシステム動作環境については、CyberLinkの Web サイト (http:// jp.cyberlink.com/) を参照してください。* CyberLink PowerDirector のオプション機能 です。バージョンの詳細は、Readme ファイルを参照してください。 第2章:

PowerDirector 作業領域

この章では、CyberLink PowerDirector の作業領域と機能について説明します。作 業領域は使用頻度が最も高い部分であり、しっかりとおさえておく必要があり ます。



A-ルーム、B-ライブラリー ウィンドウ、C-Explorer ビュー、D-拡張可能な作業領域、E-タ イムラインに合わせる / スクロール、F-ルーラーのサイズ変更、G-プレビュー ウィンドウ、 H-ディスプレイ / プレビューオプション、I-拡大 / 縮小、J-メディア ビューアー、K-スナッ プショットの取得 / プレビュー画質、L-編集作業領域、M-範囲の選択、N-トラックマネー ジャー、O-タイムライン / ストーリーボード ビュー

ルーム

[編集]モジュールには、動画の編集中に、メディア、エフェクト、タイトル、 トランジションにアクセス可能な様々なルームがあります。ルームでは、音声 の録音やミキシング、チャプターや字幕の追加などができます。デフォルトで は、ライブラリー ウィンドウに [メディア ルーム]が表示されます。

メディア ルーム

[メディア ルーム]から、メディア ライブラリーにアクセスします。メディア ライブラリーでは、各形式の動画、音声、画像ファイルを取り込みます。[メディア ルーム]の[カラーボード]は Explorer ビューからアクセスします。

ライブラリーの管理

ぶないたいです。

ぶないたいでは、

うれば、

- メディア ライブラリー全体を PDL ファイルでエクスポート。
- CyberLink PowerDirectorの他プロジェクトまたは他バージョンでエクスポートしたメディアライブラリー (PDL ファイル)をインポート。
- メディア ライブラリーのコンテンツ全体を削除。

エフェクト ルーム

[エフェクト ルーム]には、動画 / 画像に追加する特殊エフェクトが含ま れます。詳細は、49ページの「ビデオ エフェクトを追加する」を参照し てください。

PiP オブジェクト ルーム

 [PiP オブジェクト ルーム]には、マスター トラックの動画 / 画像に追加 する画像が含まれます。オブジェクトの主な種類は以下の通りです。

- 静止オブジェクト
- ・ 動くオブジェクト
- ・ フレーム

挿入したオブジェクトは PiP トラックに表示され、PiP デザイナーで変更できま す。詳細は、49 ページの「PiP オブジェクトを追加する」を参照してください。

パーティクル ルーム

[パーティクル ルーム]には、マスター トラックの動画 / 画像に追加す
 るパーティクル エフェクト (雪、粒子、煙など)が含まれます。パー
ティクル エフェクトは PiP トラックで編集します。

タイトル ルーム

[タイトル ルーム]には、プロジェクトに適用するタイトル、文字、ふ きだしなどが含まれます。詳細は、51 ページの「タイトルエフェクトを 追加する」を参照してください。

トランジション ルーム

[トランジション ルーム]には、動画や画像クリップの間に適用してス ムーズに表示したり、より専門的に見せるトランジションが含まれま す。詳細は、51 ページの「トランジションを追加する」を参照してください。

音声ミキシング ルーム

[音声ミキシング ルーム]では、音声トラックの調整が行えます。詳細は、 78 ページの「音声ミキシング ルームで音声レベルのミキシングを行う」 を参照してください。

吹き替え録音ルーム

[吹き替え録音ルーム]では、動画の吹き替えが行えます。詳細は、81 ページの「吹き替えを録音する」を参照してください。

チャプター ルーム

[チャプター ルーム]では、プロジェクトのチャプター マーカーを自動 / 手動で設定できます。完成ディスクにチャプターを設定すると、再生時 にメニュー ページから設定したチャプター マーカーにジャンプできます。詳 細は、82 ページの「チャプター」を参照してください。

字幕ルーム

[字幕ルーム]では、直接 TXT/SRT ファイルをインポートして字幕を挿入 することができます。詳細は、83 ページの「字幕」を参照してください。

ライブラリー ウィンドウ

ライブラリー ウィンドウには、すべてのメディア (動画、画像、音楽ファイル)が含まれます。メディアに適用するエフェクト、タイトル、トランジションも 含まれます。



ライブラリー ウィンドウに表示されるメディア コンテンツは、表示するルー ムによって異なります。

Explorerビュー

 ボタンを押して、ライブラリー ウィンドウの Explorer ビューを表示 / 非 表示します。Explorer ビューから、ライブラリー フォルダーにアクセスします。
 Explorer ビューでできることは次の通りです。

- ・
 ・
 をクリックして、ライブラリー ウィンドウに新しいサブフォル ダーを追加。
- 既存のフォルダーを選択し、
 テレーを引いた
 テレーを削除。
- ライブラリーウィンドウのフォルダーのコンテンツを検索。

注:ドロップダウンメニューを選択するか、ユーザー インターフェイスの 】をク リックして、ライブラリー フォルダーにクイック アクセスすることもできま す。

ライブラリー メニュー

日 をクリックして、ライブラリー メニューにアクセスします。ライブラリー メニューでは、目的に合わせてライブラリー ウィンドウのコンテンツの並び替 えと表示方法の設定ができます。ライブラリー メニューは、ルームによって追 加オプションが異なります。

拡張可能な作業領域

CyberLink PowerDirector の作業領域は拡張可能で、好みに合わせてカスタマイズが可能です。



プレビュー ウィンドウとタイムラインの境界線をドラッグすると、作業領域の サイズが変更できます。プレビュー ウィンドウのサイズをカスタマイズして、 ディスプレイを最大限に活用することができます。

タイムラインに合わせる / タイムラインにスクロール する

作業領域のサイズ変更をしたり、トラックマネージャーを使ってタイムライン に PiP または音楽トラックを追加した後に、 ま ボタンをクリックすると、す べてのトラックは既存のタイムライン内に表示されます。 指定のトラックを表 示するのにスクロールする必要はありません。

■▼ をクリックすると、タイムラインのトラックをスクロールして表示します。

注:[タイムラインにスクロール]を有効にすると、下にトラックをスクロー ルしても、マスタービデオ トラックは常に一番上のトラックに配置されます。

ルーラーのサイズを変更する

タイムライン ルーラーのサイズを変更することで、タイムラインの表示を拡張 したり、縮小したりすることができます。ルーラーのサイズ変更をするには、 ルーラーをクリックして、ドラッグします。ルーラーを拡張すると、表示が拡

00:00:00	00000	00:01:00:00	00:01:30:00		
大されるの	で、特にクリ	ーップやエフェク		せに便利です。	タイムラ
イン スライ	ダー 💿 —	<mark>● </mark> ● を使っ [・]	てタイムライン	ノのサイズ変更	を行うこ
ともできま	す。				

プレビュー ウィンドウ

作品を作成中に、プレビュー ウィンドウでクリップ / ムービーのプレビューが できます (再生コントロールを使用)。



タイムラインで選択したクリップを再生するには [**クリップ**]を、作品全体を 再生するには [ムービー]をクリックします。 **回** を選択して、プレビュー動画 (スナップショットも同様)の画質を設定することもできます。

他にも、メディアビューアーやセカンダリー ディスプレイで作品をフルスク リーンで表示するなど、複数のプレビュー方法があります。

拡大 / 縮小

タイムラインの PiP トラックにメディアを配置したら、[**フィット**]ドロップダ ウンメニューからプレビュー ウィンドウの画面を拡大 / 縮小します。拡大は PiP メディアの配置に便利です。縮小は PiP メディアを画面外から移動させる場 合に使用します。

ディスプレイ / プレビュー オプション

編集時に役立つディスプレイ / プレビュー オプションも利用できます。 🎦 を クリックして TV セーフ ゾーン (表示範囲)、グリッド ライン、デュアルプレ ビューを表示し、プレビュー モードを選択します。

TV セーフ ゾーン(表示範囲)とグリッド ライン

タイムラインの PiP トラックにメディアを配置したら、TV セーフ ゾーン (表示 範囲)/ グリッド ラインを使って、映像の配置場所を決めます。

- アロンシンをクリックし、[TV セーフゾーン]を選択すると、通常のテレビ 画面の表示範囲を四角で示します。
- アイボタンをクリックし、[グリッド ライン]を選択すると、画面に複数の グリッド枠を示します。このグリッド ラインを参考にすると、PiPメディア をより正確な場所に配置できます。

設定後、[**グリッド枠に合わせる**]を選択して、選択したオブジェクトをグ リッド ライン、TV セーフ ゾーン、境界線に配置します。

デュアル プレビュー

セカンダリー ディスプレイ (コンピューターに接続されたモニター、TV、DV カムコーダー)を使用する場合、 AT ボタンをクリックし、[**デュアルプレ** ビュー]を選択して、作業領域を拡張し、セカンダリー ディスプレイで作品を プレビューします。

注:セカンダリー プレビュー ウィンドウとして接続したモニターまたは TV を使用 するには、まず Windows の [画面のプロパティ] 設定でデスクトップをセカンダ リー ディスプレイに拡張設定する必要があります。

設定後、プレビュー ウィンドウで再生すると、作品をプライマリーおよびセカ ンダリー ディスプレイ (TV やモニター) または接続された DV カムコーダーで プレビュー可能になります (設定によって異なります)。

プレビュー モード

動画作品のプレビュー用に、2つのプレビュー モードがあります。

- リアルタイム: クリップおよびエフェクトをリアルタイムで同期化・レンダ リングを行います。動画のプレビューは、標準の 25 (PAL) または 30 (NTSC) / 秒で表示されます。
- ノンリアルタイム:音声をミュートし、速度を落としてプレビューを表示することで、スムーズに編集を行うことができます。ハイデフィニション映像の編集、低性能のコンピューターで複数の PiP トラックを編集、プレビュー時にフレームの脱落がある場合に便利です。編集中にスムーズにプレビューできない場合、音声をミュートし、速度を落とすことで、さらに多くのフレーム / 秒を参考にできます。

メディアビューアー

メディア ビューアーはプレビュー ウィンドウと類似しますが、さらに大きな 画面 (フル スクリーンも含む) で表示することができます。

メディアビューアーの使用方法は次の通りです。

- プレビューウィンドウの □ をクリックして、メディアビューアーを起動します。
- メディアビューアーの

 をクリックして、フルスクリーンで作品を表示します。
- フルスクリーンモードの
 をクリックして、ウィンドウを標準サイズに 戻します。
- フルスクリーンモードの Xをクリックして、メディアビューアーを閉じます。

作業領域の編集

作業領域は、メディア、エフェクト、トランジション、タイトルを追加して作品を作成するスペースです。作業領域には、2種類のビュー(タイムラインおよびストーリーボード)があります。 🚠 または 🗔 ボタンをクリックしてアクセスします。

注:作業領域のデフォルト設定は、35ページの「編集の環境設定」を参照してください。

タイムライン ビュー

メディア トラック

タイムラインには、次のトラックがあります。

トラック	説明
	[マスター ビデオ トラック] にはプロジェクトのメインとなる 動画 / 画像クリップを配置します。
	[エフェクト トラック] にはマスター ビデオ トラックの動画 / 画像クリップに適用する特殊効果を配置します。
**	[PiP トラック] には、PiP エフェクト表示時に、マスタービデ オ トラックに挿入する動画クリップ、画像、オブジェクト、 パーティクル エフェクトを配置します。[トラックマネー ジャー] では、最大 8 つの PiP トラックがタイムラインに追加 可能です。PiP トラックはタイムライン上の順番に沿って番号 が付けられます。
P	[タイトル トラック]には、タイトル エフェクトの表示時に、 クリップ上に表示するタイトル エフェクトを配置します。
¥	[音声トラック]には、吹き替えナレーションや副音声クリッ プを配置します。
55	[音楽トラック]には作品の主音声や音楽クリップを配置しま す。[トラックマネージャー]では、最大2つの音楽トラックが タイムラインに追加可能です。音楽トラックは、タイムライン 上の順番で番号が付けられます。
	[チャプター トラック] には、現在の動画作品のチャプター マーカーをすべて配置します。このトラックは、チャプター ルームを使用中の場合にのみ表示されます。
	[字幕トラック]には、現在の動画作品の字幕マーカーをすべ て配置します。このトラックは、字幕ルームを使用中の場合に のみ表示されます。
SVRI	[SVRT トラック] には、現在のプロジェクトの SVRT 情報が表示 されます。詳細は、112 ページの「SVRT が適用される条件」を参 照してください。

範囲の選択

タイムライン スライダーのどちらか側の矢印をクリック&ドラッグして、メ ディアの範囲を選択します。



選択したら、選択したメディアを切り取ったり、コピーしてタイムラインの他の場所に貼り付けます。



この機能を使って、編集するクリップを手動でハイライトして、削除したりト リミングすることもできます。

トラック マネージャー

トラックマネージャー*を使って、タイムラインに PiP または音楽トラックを 追加します。同時に最大9つの PiP オブジェクト、3つの音楽が作品に追加可能 です。タイムラインにトラックを追加するには、 またをクリックしてから追加す る PiP/音楽トラックの番号を選択します。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

トラックのロック / ロック解除

タイムラインのトラックをロックするには、トラック左側の
全 をクリックします。トラックをロックすると、そのトラックにクリップを追加したり、トラックに含まれるクリップを移動または編集したりすることはできなくなります。タイムラインのトラックのロックを解除するには、トラック左側の
そ をクリックします。

トラックの表示 / 非表示

タイムラインのトラックを非表示にするには、プレビュー ウィンドウの [ムー ビー]をクリックし、トラック左側の 回をクリックします。トラックを非表示 に設定すると、プレビュー ウィンドウに表示されません。トラックごとにプロ ジェクトをプレビューしたり、作業中のトラックのみを表示することができま す。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

タイムラインで非表示にしたトラックを表示するには、プレビュー ウィンドウの[**ムービー**]をクリックし、トラックの左側の M をクリックします。

ストーリーボード ビュー

注:ストーリーボード ビューでは多くの機能が使えません(動画 / 画像素材のみを 配置)。このビューで使用できない機能を使うと、作業領域は自動的にタイムライ ン表示に切り替わります。 CyberLink PowerDirector

第3章:

作成の準備をする

この章では、メディアのインポート、メディアのキャプチャー、環境設定の設 定方法など、作成の準備に必要な作業について説明します。

メディアをインポートする

作品に使用する動画ファイル、音楽、画像がハード ディスクやリムーバブル デバイスに保存されている場合は、CyberLink PowerDirector の メディア ルーム ライブラリーに直接インポートできます。 CyberLink PowerDirector に対応するファイル形式は次の通りです。 **画像**: JPEG、TIFF、BMP、GIF、PNG **動**画: DV-AVI、Windows-AVI、DAT、MPEG-1、MPEG-2、DVR-MS、VOB、VRO、 WMV、MOV、MOD、TOD、MP4、MTS、M2TS、JTS、TS、M2T **音声**: MP3、WAV、WMA

注: CyberLink PowerDirector のバージョンによって対応するファイル形式は異なり ます。バージョンの詳細は、Readme ファイルを参照してください。

をクリックして、メディアをメディア ルームのライブラリーにインポートします。以下の2つのオプションのうちいずれかを行います。

- メディアファイルを個別にインポートする。
- 使用するメディアファイルを含むフォルダー全体をインポートする。

注:メディアを CyberLink PowerDirector のウィンドウにドラッグ&ドロップして、 プログラムにインポートすることもできます。

メディアをダウンロードする

作品向けのメディアが足りなかったり、特定のメディアを探している場合は、 以下の操作を行います。

- ・ でクリックして、インターネットからメディアを直接ダウンロードして、メディア ライブラリーに入れます。
- をクリックして、DirectorZone から PiP エフェクト、パーティクル エ
 フェクト、タイトル テンプレート、ディスク メニューをダウンロードしま
 す。

Flickr から画像をダウンロードする

Flickr のアカウントから自分の画像を直接 CyberLink PowerDirector にダウンロードできます。CyberLink PowerDirector のユーザーが作成した画像を検索して、プロジェクトのメディア ライブラリーにインポートすることもできます。 Flickr から写真をダウンロードするには、次の操作を行います。

- 1. ((), をクリックして、[Flickr からインポート]を選択します。
- ウィザードの指示に従い CyberLink PowerDirector で Flickr アカウントを 使うための認証と利用規約の合意を行います。

注:Flickr で画像を検索、表示、ダウンロードするために Flickr のアカウントを持つ 必要はありません。

- 3. ドロップダウンから画像の検索先を選択します。
- Flickr のマイフォト: Flickr のマイアカウントにアップロードした全画像を サムネイル表示します。
- 連絡先の画像:連絡先(友達)がFlickrにアップロードした全画像をサムネイル表示します。
- ・ Flickr で画像を検索する: Flickr の画像を検索するときに選択します。

注:検索ウィンドウ上部のドロップダウンのフィルターメニューを使って画像の 並び替えをします。

 メディア ライブラリーにインポートする画像をすべて選択したら、[ダ ウンロード]ボタンをクリックします。
注:メディア ライブラリーにダウンロードした画像は、商業目的で利用できません。画像サムネイル下のボタンをクリックすると著作権情報が表示されます。

Freesound から音声をダウンロードする

サウンドエフェクトや音楽クリップなどの音声サンプルを Freesound サービス から CyberLink PowerDirector にダウンロードできます。

Freesound から音声クリップをダウンロードするには、次の操作を行います。

- 1.
 ① をクリックして、[Freesound からインポート]を選択します。
- ウィザードの指示に従って、Freesound にサインインしてから利用規約 に合意します。
- 3. 検索ウィンドウで、音声クリップを検索します。

注:検索を実行する前に、チェックボックスを使って検索キーワードを絞り込みま す。

 メディア ライブラリーにインポートする音声をすべて選択したら、[ダ ウンロード]ボタンをクリックします。

注:メディア ライブラリーにダウンロードした音声は、商業目的で利用できません。音声サムネイル下のボタンをクリックすると著作権情報が表示されます。

DirectorZone からテンプレートをダウンロードする

ライブラリーに PiP オブジェクト、タイトル エフェクト、パーティクル エフェ クト、ディスク メニュー テンプレートを追加するには、PiP オブジェクト ルー ム、パーティクル ルーム、タイトル ルーム、ディスク メニュー ウィンドウの をクリックして、DirectorZone Web サイトのメディアをダウンロードしま す。

DirectorZone は、CyberLink PowerDirector のユーザー インターフェイスに統合 され、テンプレートが簡単に検索できるようになりました。これらのテンプ レートは、CyberLink または CyberLink PowerDirector のユーザーが作成し、 DirectorZone にアップロードした作品です。

メディアをキャプチャーする

CyberLink PowerDirector を使って、さまざまなソースからメディアをキャプ チャーし、メディア ライブラリーに直接保存することができます。[**キャプ チャー**]ボタンをクリックすると、キャプチャー ウィンドウに切り換わりま す。キャプチャー ウィンドウは、次のように表示されます。



A - DV カムコーダーからキャプチャー、B - HDV カムコーダーからキャプチャー、C - TV 信号か らキャプチャー、D - デジタル TV 信号からキャプチャー、E - ウェブカメラからキャプチャー、 F - マイクからキャプチャー、G - CD からキャプチャー、H - DVD または AVCHD カムコーダーか らキャプチャー、I - ライブラリー(キャプチャー)、J - 画質プロファイルの設定、K - キャプ チャーの設定、L - キャプチャーの環境設定

DV カムコーダーからのキャプチャー

人気の DV カムコーダーはデジタル形式で録画するタイプで、使用する際に変換する必要はありません。DV カムコーダーからのキャプチャーは、シーンひとつでも、シーンをまとめて一括でも行うことができます。

注: DV カムコーダーを USB でコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを 直接インポートする必要があります。動画ファイルのインポートについては、23 ページの「メディアをインポートする」を参照してください。

1シーンのキャプチャー

カムコーダーから1シーンをキャプチャーできます。この機能は、長時間の1 映像シーンをスキップなしでキャプチャーする場合に、特に便利です。

DV のバックアップ

PowerDirectorのDVバックアップ*機能を使うと、DVカムコーダーからDVD に、直接デジタル映像のバックアップを取ることができます。 「」 クリックして、動画のバックアップを開始します。

注:この機能を使うには、DVD 書き込みドライブが必要です。* CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、Readme ファイルを参 照してください。

DV カムコーダーからのバッチ キャプチャー(一括取り込み)

バッチ キャプチャー (一括取り込み) は、複数の動画クリップを自動的にキャ プチャーし、作業にかかる時間を短縮できる便利な機能です。 DV カメラで間隔 を検索し (手動での設定も可能)、作成した間隔でバッチ キャプチャーします。

自動バッチ キャプチャー

手動バッチ キャプチャー

手動バッチ キャプチャー * では、より詳細な設定が行えるので、取り込みたい シーンを確実にキャプチャーできます。キャプチャーするシーンの位置が分 かっている場合は、手動バッチキャプチャーの使用をお勧めします。 家ンをクリックして、手動バッチ キャプチャー機能にアクセスします。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

HDV カムコーダーからのキャプチャー



HDV カムコーダーは高画質デジタル形式で録画するタイプで、使用す る際に変換する必要がありません。HDV カムコーダーから直接 PowerDirector に映像がキャプチャーできます。

注:HDVカムコーダーをUSBでコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを 直接インポートする必要があります。動画ファイルのインポートについては、23 ページの「メディアをインポートする」を参照してください。

TV 信号からのキャプチャー

TV 番組の映像を作品に挿入したり、録画することができます。

デジタル TV 信号からのキャプチャー

デジタル TV 番組の映像を作品に挿入したり、録画することができま す。 注:デジタル TV の仕様により一部の国・地域ではご利用いただけません。

ウェブカメラからのキャプチャー

ウェブカメラは、シンプルな映像を取り込むのに便利なカメラです。

マイクからのキャプチャー

動画に吹き替え音声が必要な場合があります。あらゆる種類の音声トラックに、マイクを使って音声をキャプチャー(録音)できます。

CD からのキャプチャー

お気に入りの音楽を使って、個人的な楽しい動画を作成します。オー ディオ CD から取り込んで、音声トラックとしてプロジェクトに追加し ます。

DVD からのキャプチャー

DVD から映像シーン (音声も含む)をキャプチャーすることができま す。

注:ディスクによっては、キャプチャーできないようにコンテンツが保護されている物もあります。

AVCHD カムコーダーからのキャプチャー



AVCHD カムコーダーは高画質デジタル形式で録画するタイプで、使用 する際に変換する必要がありません。AVCHD カムコーダーから直接 CyberLink PowerDirector に映像がキャプチャーできます。 注:AVCHDカムコーダーを USB でコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを直接インポートする必要があります。動画ファイルのインポートについては、 23ページの「メディアをインポートする」を参照してください。

キャプチャーしたコンテンツ

キャプチャー ウィンドウでキャプチャーしたすべてのメディアは、ライブラ リー (キャプチャー) に表示されます。[編集] ウィンドウに戻ると、ライブラ リー (キャプチャー) のすべてのメディアはメディア ルームのライブラリーに 自動的にインポートされます。

ライブラリー(キャプチャー)で、メディアを右クリックすると、動画クリッ プ中のシーン検出、不要なコンテンツの削除ができ、[編集]ウィンドウにイ ンポートされません。

[フォルダーの変更]ボタンを選択して、キャプチャーするメディアの保存 フォルダーを指定します。

画質 / 音質プロファイルの設定

メディアをキャプチャーする場合、[プロファイル]ボタンをクリックして、 ファイルの形式および画質 / 音質のプロファイルを選択します。CyberLink PowerDirector のキャプチャー機能は、バージョンによって異なります。ご使用 のバージョンで使用できる機能については、Readme ファイルを参照してくだ さい。

キャプチャーの設定

[設定]ボタンをクリックして、選択したキャプチャー デバイスの設定をします。キャプチャーの設定オプションは、接続しているキャプチャー デバイスお よび選択しているキャプチャー モードによって異なります。

注:DVDからキャプチャーする場合、[**ドライブ**]ボタンをクリックして、必要に応じてキャプチャー元のディスクドライブを選択します。

キャプチャーの環境設定

キャプチャー前に、キャプチャーするコンテンツの環境設定を行うことができ ます。キャプチャーの環境設定の内容は、キャプチャーするコンテンツによっ て異なります。

- ・ 最大キャプチャー時間を設定するには、[時間制限]を選択して、タイム コードボックスに制限時間を入力します。
- 最大キャプチャーサイズを設定するには、[サイズ制限]を選択して、制限サイズを MB 単位で入力します。
- キャプチャーした動画にテキスト注釈、日付、時刻コードを追加するには、
 をクリックします。
- 動画フレーム中の画像をプロジェクトに使うには、スナップショットを取得する個所で
 (キャプチャー)に保存されます。詳細は、33ページの「ファイルの環境設定」を参照してください。

注:RichVideo 対応の DV カムコーダーからコンテンツをキャプチャーすると、タイムコード情報も自動的にキャプチャーされます。タイムコードを有効にするには、[編集]ウィンドウで動画クリップをタイムラインに置き、[時間情報]ボタンをクリックして設定します。詳細は、57ページの「時間情報」を参照してください。

- カムコーダーからキャプチャー中に、[ノンリアルタイム]を選択すると、 取り込んだ動画の処理を元の動画の再生停止後に行うため、フレームの脱 落有無を確認することができます(より確実な取り込みが行えます)。
- マイクで録音した音声にフェードインを適用するには、[開始時にフェード イン]を選択します。
- マイクで録音した音声にフェードアウトを適用するには、[終了時にフェー ドイン]を選択します。
- CDの音声を高速で取り込むには、[最大速でキャプチャー]を選択します。
 このオプションを選択すると、処理時間は短くなりますが、音質は低下します。

シーンの検出と音声の抽出を行う

編集作業をより簡単に行えるよう、動画クリップのシーンの検出や、音声の抽 出もできます。これらの新しいクリップは、メディア ライブラリーで元のク リップとは別に表示されます。

動画クリップからシーンを検出する

シーンの検出機能は、動画クリップに含まれるさまざまなシーンを基に、個別 のクリップを自動生成する機能です。検出されたシーンは元の動画から分割さ れることなく、他のメディア クリップと同様、作業領域に追加されます。 動画クリップでシーンを検出するには、キャプチャー コンテンツ エリアまた はメディア ライブラリーでファイルを右クリックし、[シーンの検出]を選択 し[検出]を選択します。

注:ファイル形式によってシーン検索の精度が異なる場合があります。必要に応じて、シーン検索ダイアログでシーンを分割してください。

検出されたシーンは、元の動画下のサブフォルダに表示されます。これらは、 他の動画クリップと同様にタイムラインに追加したり、メディア ライブラリー で管理することができます。

検出シーンを含む動画クリップには、メディア ライブラリーのクリップの右下 隅に小さなフォルダー アイコンが示されます。 クリップのシーンを表示するに は、フォルダー アイコンをクリックします。



動画クリップから音声を抽出する

動画クリップの音声のみを抽出するには、メディア ライブラリーで動画クリッ プを右クリックして、[**音声の抽出**]を選択します。音声クリップは動画から切 り離され、他の音声ファイルと同様に扱うことができます。 注:動画クリップの映像と音声を分割するには、タイムラインの動画ファイルを右 クリックして、[音声分割]を選択します。詳細は、77ページの「動画クリップから 音声を分離する」を参照してください。

PowerDirector の環境設定

作品作成に取り掛かる前に、好みに合わせて設定を行います。作品作成中に、 設定を変更することもできます。

ファイル の環境設定

ファイルの環境設定を行うには、 🧐 > [編集] > [環境設定] をクリックしま す。 設定ウィンドウが開いたら、[**ファイル**] タブをクリックします。 以下のオ プションが設定できます。

デフォルトの位置

- インポートフォルダー:最後にメディアをインポートしたフォルダーが表示されます。このフォルダーを変更するには、[参照]をクリックして、新しいフォルダーを選択します。
- エクスポートフォルダー:キャプチャーするメディアを保存するフォル ダーを指定します。このフォルダーを変更するには、[参照]をクリックして、新しいフォルダーを選択します。
- ファイル名
- キャプチャーする動画名:キャプチャーする動画ファイルに付けるデフォルトの名前を入力します。CyberLink PowerDirector ではこの名前に連番を付加して、キャプチャーした各ファイルに固有のファイル名を作成します。
- 常にファイル名の変更ダイアログを表示する:動画クリップをキャプチャー する度にファイル名入力のダイアログを表示させる場合は、このオプションを有効にします。
- 出力ファイル名:出力する動画ファイルに付けるデフォルトの名前を入力します。
- スナップショット ファイル名:キャプチャーするスナップショット(画像 ファイル)に付けるデフォルトの名前を入力します。CyberLink PowerDirector ではこの名前に連番を付加して、キャプチャーした各ファイ ルに固有のファイル名を作成します。ドロップダウンメニューからスナッ

プショットのファイル形式を選択します。BMP、JPG、GIF、PNGの形式から 選択します。

- 常にファイル名の変更ダイアログを表示する:スナップショットをキャプ チャーする度にファイル名入力のダイアログを表示させる場合は、このオ プションを有効にします。
- スナップショット保存先:キャプチャーするスナップショットの保存先をプ ルダウンメニューから選択します。
- 可能な限りマスタービデオのサイズを使用する:スナップショットを、取り込み時のプレビューウィンドウのサイズではなく、元の動画サイズで保存する場合に選択します。
- プロジェクト履歴の表示数: CyberLink PowerDirector の起動時に、[ファイル]メニューに表示される、プロジェクト履歴の表示数 (0 から 20) を入力します。
- PowerDirector 起動時に最新のプロジェクトを自動的に開く: PowerDirector の起動時に最新のプロジェクトを自動的に開く場合は、このオプションを 選択します。
- PowerDirector 起動時にサンプルクリップを自動的に開く: プログラムを起動する度にメディアライブラリー上にサンプルメディアファイルを取り込む場合は、このオプションを選択します。

全般の環境設定

全般の環境設定を行うには、 🧐 > [編集] > [環境設定] をクリックします。 設定ウィンドウが開いたら、[全般] タブをクリックします。 以下のオプションが設定できます。

アプリケーション

- ・ 元に戻す回数:作品作成中での元に戻す機能(Ctrl+Z)の回数(0から100)を入 カします。回数を増やすと、より多くのCPUのリソースを消費します。
- TV 信号形式:動画用のTV 信号形式 (NTSC または PAL)を選択します。動画を 再生する地域の形式と一致させる必要があります(動画をディスクに書き 込む場合)。
- 動くインターフェイスを使用する:動きのあるインターフェイスを使用する 場合に、このオプションを選択します。有効にすると、より多くの CPU リ ソースを消費します。
- タイムラインに音の波形を表示する:動画クリップ、音楽クリップ、音声クリップの音声部分のタイムラインに音の波形を表示する場合に選択します。

- 高速ファイル処理を有効化して HD 映像の編集を高速化する:高速ファイル 処理を有効化してハイデフィニション映像の編集を高速化する場合に選択 します。有効にすると、より多くの CPU リソースを消費します。
- 一時ファイルの自動削除(間隔):一時ファイルを自動的に削除する間隔(日数)を選択します。手動で一時ファイルを削除する場合は、[手動で削除]ボタンをクリックします。

RichVideo

- RichVideo 情報をファイルに追加する: RichVideo 情報をメディア ファイルに 追加する場合に選択します。
- RichVideo 情報をオープンメディアダイアログで有効にする:メディアライ ブラリーにメディアをインポートする際、RichVideo 情報を表示する場合に 選択します。

インターネット

ソフトウェアアップデートを自動チェックする:定期的に更新情報やバージョンを自動的に表示する場合に選択します。

言語

- システムのデフォルトの言語を使用する: CyberLink PowerDirector の表示言 語をコンピューターのオペレーティングシステムと同じ言語にする場合に、 このオプションを選択します。
- ユーザー定義:このオプションを選択してから、表示言語をドロップダウン リストから選択します。

編集の環境設定

編集の環境設定を行うには、 🧐 > [編集] > [環境設定] をクリックします。 設定ウィンドウが開いたら、[編集] タブをクリックします。 以下のオプションが設定できます。

タイムライン

- デフォルト作業領域:デフォルトの作業領域をタイムラインまたはストーリーボードから選択します。
- ビデオトラックのコンテンツを追加/削除するときにすべてのトラックを リンクさせる:タイトル、ビデオエフェクト、音楽、PiP クリップをマス タービデオトラックにリンクします。このオプションを選択すると、マス タービデオトラック上の動画クリップを移動する際に、これらのクリップ

も一緒に移動します。このオプションを選択解除すると、タイムラインのク リップを個別に操作できます。

- Magic Motion 使用時に画像間にトランジションを挿入する:このオプション を選択して、[トランジション種類]から Magic Motion ツール使用時の画像 間のトランジション種類を選択します。
- フレーム固定使用時にエフェクトとタイトルを追加する:[フレーム固定]
 ボタンをクリックした時にタイムラインにエフェクトやタイトルを自動追加する場合に、このオプションを選択します。

所要時間

- タイムラインでの画像ファイルやさまざまなエフェクトの、デフォルトの 所要時間(秒単位)を設定します。
- プロジェクトの自動保存:このオプションを選択して、プロジェクトを自動 保存する間隔(分)を入力します。

GPU アクセラレーション

 NVIDIA CUDA 技術を有効にして、ビデオ エフェクトのプレビュー / レンダ リングを高速化する: CUDA 技術に対応する NVIDIA グラフィック カードま たはストリーミング技術に対応する ATI グラフィック カードを使用する場 合に、このオプションを選択すると、GPU のマルチコア並列処理能力を利 用することで、一部のビデオ エフェクトおよび MPEG-4 動画のレンダリン グを高速化できます。

注:出力中に NVIDIA CUDA/ATI ストリーム エンコーディング技術を有効化するに は、出力前に[出力]ウィンドウの出力環境設定セクションの[**ハードウェアビデ オエンコーダー**]を選択します。

確認の環境設定

確認の環境設定を行うには、 🧐 > [編集] > [環境設定] をクリックします。 設定ウィンドウが開いたら、[確認] タブをクリックします。 以下のオプションが設定できます。

確認

TV 信号形式が一致しない場合、確認メッセージを表示する:このオプションを選択すると、TV 信号形式 (NTSC/PAL) と一致しない動画クリップを作業領域に追加した場合に、警告メッセージが表示されます。

- 縦横比が一致しない場合、確認メッセージを表示する:このオプションを選 択すると、縦横比が一致しない動画クリップを作業領域に追加した場合に、 警告メッセージが表示されます。
- ファイルをハードドライブから削除する:このオプションを選択すると、
 メディアライブラリーのファイルをハードドライブから削除します。
- 編集中にチャプターを削除する場合、確認メッセージを表示する:このオプションを選択すると、動画編集中にチャプターポイントが削除された場合に、警告メッセージが表示されます。
- ワイド画面に対応しない場合、確認メッセージを表示する:このオプション を選択すると、ワイド画面に対応しない場合、警告メッセージが表示され ます。

キャプチャーの環境設定

キャプチャーの環境設定を行うには、 > [編集] > [環境設定] をクリックします。 設定ウィンドウが開いたら、[キャプチャー] タブをクリックします。 以下のオプションが設定できます。

キャプチャー

- キャプチャーしたファイルをメディア ライブラリーに追加する:このオプションを選択すると、キャプチャーしたファイルをメディア ライブラリーに直接インポートします。
- キャプチャーしたファイルを作業領域に追加する:このオプションを選択すると、キャプチャーしたファイルは作業領域に直接インポートされます。
- キャプチャーにオーバーレイを使用する:ビデオオーバーレイに対応していない古い VGA カードを使用してる場合を除き、キャプチャー中はこのオプションを有効にしておきます。このオプションを選択解除すると、オーバーレイ未対応の表示エラーを避けることができます。
- 吹き替え音声を自動的に置き換える:吹き替えが重なる場合に新しい吹き替え音声で上書きする場合に、このオプションを選択します。
- CyberLink MPEG@Best を使用する: MPEG 動画をキャプチャーする際に、 キャプチャー速度と画質のバランスをとる場合に、このオプションを選択 します。

シーン自動検出

キャプチャー中にシーンの検出をしない:キャプチャー中にシーンの自動検
 出を行わない場合に、このオプションを選択します。

- キャプチャー後、動画フレームの変更点でシーンを検出する:動画のキャプ チャー中にシーンの検出を行う場合に、このオプションを選択します。シーンの検出では、取り込んだフレームを比較して、シーンの変更箇所を識別します。各シーンは録画中に各シーンごとにファイルに保存されます。
- キャプチャー中にタイムコードでシーンを別ファイルに保存する (DV-VCR モードのみ): シーンのブレーク信号を検出し、各シーンを個別のファイル に保存する場合に、このオプションを選択します。(DV カムコーダーは、 ユーザーが REC (録画)ボタンを放すと、テープ上にシーン ブレーク信号を 生成します。) この機能は DV カムコーダーからのキャプチャーにのみ使用 できます。
- DV パラメーター: このボタンをクリックして DV カムコーダーのバッファー パラメーターを設定します。バッファー時間を設定すると、DV カムコー ダーと DV バッチ キャプチャーまたは DV 書き込みデバイスを同時にスター トさせることができます。バッファーを使わないと、バッチ キャプチャー(一括取り込み)、またはテープへの書き込みはカムコーダーが動作する前に スタートします。

出力の環境設定

出力

- 選択したトラックのみを出力する:このオプションを選択すると、タイムラインで選択したトラックのみを出力します。選択されていないトラックは出力されません。
- ビデオのブロックノイズを縮減する (Intel SSE4 最適化): このオプションを 選択すると、動画の出力画質を改善します (コンピューターが Intel SSE4 最 適化対応の場合)。
- 3D スライドショーの画質:
- スライダーを使って、作成した 3D スライドショービデオの画質を設定します。画像の動きが遅いほどスライドショーの画質が上がります。CyberLink PowerDirectorは、コンピューターの 3D グラフィックカード(搭載の場合) を使って出力時間を早めます。

DirectorZone の環境設定

DirectorZoneの環境設定を行うには、 S > 編集 > [環境設定]をクリックしま す。設定ウィンドウが開いたら、[DirectorZone] タブをクリックします。 以下の オプションが設定できます。

自動サインイン

 PowerDirector 起動時に DirectorZone に自動サインインする: このオプション を選択して、電子メールアドレスおよびパスワードを入力すると、プログ ラムの起動時に DirectorZone に自動サインインします。DirectorZone のアカ ウントがない場合は、「アカウントの取得]ボタンをクリックします。

プライバシー原則

 DirectorZone が編集情報を収集する:このオプションを選択すると、 YouTube にアップロードしたプロジェクトで使用したテンプレートの名前 すべてを収集します。 CyberLink PowerDirector

第4章:

ストーリーを作成する

この章では、メディアを動画および画像スライドショーに入れる方法を説明し ます。

PowerDirector のプロジェクト

プロジェクトは PDS 形式 (CyberLink PowerDirector 独自の形式)のファイルで保存されます。 「「「」」「」「」」「」「」」「」「」「」」「」「」」「」」 プロジェクトを開きます。

CyberLink PowerDirector でメディアの編集をしても、プログラムにインポート した元のメディアは **影響されません**。すべての設定はプロジェクト ファイルに 保存されており、クリップをトリミング、編集、削除しても、ハードディスク に保存されている元のファイルはそのままの状態です。つまり、いつでもやり 直しが可能なため、安心して編集作業を進めることができます。

プロジェクトの縦横比を設定する

作業を開始する前に、プロジェクトの縦横比を設定する必要があります。デフォルトの縦横比は16:9 で、ワイド画面テレビや YouTube のフルスクリーンに対応します。プロジェクトの縦横比に合わせて、4:3 に変更することもできます。メディアの縦横比を変更する方法は、58 ページの「動画クリップの縦横比を調節する」を参照してください。

プロジェクトの縦横比を設定するには、 S > [編集 > [縦横比] > [4:3] または [16:9] をクリックします。 選択した縦横比でプレビュー ウィンドウのサイズが 変更されます。

メディアを作業領域へ追加する

メディアやエフェクトを作業領域に追加したら、さらに編集作業を進めます。 短時間で完成させたい場合や、手引きが必要な場合には、Magic Movie ウィ ザードやスライドショー デザイナーを使用することもできます。 メディアの種類により、配置できるトラックは異なります。例えば、タイトル はタイトルトラックに、トランジションはトランジショントラックに、音声 は音声 / 音楽トラックに配置します。メディア クリップをドラッグすると、追 加できるトラックがハイライト表示されます。

Magic Movie ウィザード

初めて編集する場合や、編集の始め方などが不確かな場合には、Magic Movie ウィザードが役に立ちます。このツールを使えば、簡単な手順でプロ級の作品 を作成することができます。その後、作品の編集、ファイルの出力、ディスク への書込みができます。

注: Magic Movie ウィザードには、メディア ライブラリー内のすべてのメディアを 使用するオプション、作業領域内のすべてのメディアを使用するオプション、選択 したメディアのみを使用するオプションがあります。特定のクリップのみを使用す る場合は、事前にクリップを選択しておきます。

Magic Movie ウィザードを使うには、タイムライン左の 重 ボタンをクリック して、ウィザードの指示に従います。

スライドショー デザイナー

スライドショー デザイナーは、画像から動きのあるスライドショーを簡単に作 成できる便利なツールです。 スライドショーに入れるすべての画像をタイムラ インにドラッグし、すべてを選択してから [**スライドショー**] ボタンをクリッ クし、スライドショー デザイナーを起動します。

スライドショー デザイナーのスライドショー テンプレートから選択します。テ ンプレートを使って、さまざまなタイプのスライドショーが作成できます。[次へ]をクリックして、プレビュー ウィンドウで出力内容を表示します。必要 に応じて、前のウィンドウに戻り、別のテンプレートを選択します。

スライドショー音楽

BGMを追加するには、
ナフ
をクリックしてから、使用する音声ファイルを選択します。

注:スライドショーに BGM を付けると、Magic Slideshow 技術により音楽の長さに 合わせて画像を表示します。

音楽の環境設定

スライドショーで BGM を使う場合は、[音楽の環境設定]をクリックして音楽の設定を行います。

- 再生コントロールで音声ファイルをトリミングし、トリムバーのスライ ダーを動かして開始位置および終了位置を設定します。
- BGM 再生中に をクリックして BGM の開始位置を、 をクリックして 終了位置を設定します。
- BGMをフェードインする場合は[フェードイン]を、フェードアウトする場合は[フェードアウト]を選択します。

スライドショーの環境設定

[スライドショーの環境設定]をクリックしてスライドショーの設定をします。

- 所要時間:このオプションを使って、スライドショーの長さを設定します。[画像を音楽に合わせる]を選択すると、選択した BGM の再生時間に合わせ てスライドショーを表示します。[音楽を画像に合わせる]を選択すると、 自動作成されたスライドショーの再生時間に合わせて音楽を再生します。
- 順序:このオプションを使って、スライドショーで表示する画像の順序を設定します。[タイムライン順序]を選択すると、タイムラインと同じ順序で表示します。[撮影日/時間]を選択すると、写真を撮影した日付、時間順にスライドショーを表示します。

スライドショー デザイナーでスライドショーをカスタマイズする

スライドショー テンプレートによっては、スライドショー デザイナーを使っ てスライドショーを手動でカスタマイズできます。 スライドショーを作成して、 プレビュー ウィンドウに [**カスタマイズ**] ボタンが表示される、またはスライ ドショーがタイムライン上で選択されている場合は、このボタンをクリックし てスライドショー デザイナーを開きます。



A - プレビュー エリア、B - 編集エリア、C - スライド エリア、D - 追加ツール エリア

選択したスライドショー テンプレートによって、スライドショー デザイナー に表示される編集オプションおよびツールは異なります。 スライドショー デザ イナーのテンプレートで使える編集オプションは次の通りです。

セルスライドショー

スライドショー デザイナーでセル スライドショーをカスタマイズする場合、 次の操作を行います。

スライドエリアで、特定のスライドショースライドをクリックして、表示、編集します。

- プレビューエリアで、画像を特定のセルにクリック&ドラッグします。
- 編集エリア(使用しない画像)で、[画像の追加]ボタンをクリックして、ス ライドショーに含む追加画像をインポートします。
- 編集エリア(使用しない画像)で、スライドで表示可能な画像の最大数を示します。
- ・ 編集エリアで、画像を [使用しない画像]から [プレビューエリア]のセル にドラッグ&ドロップします。セルをクリックしてハイライトを付け、
 ▲ ボタンをクリックして選択した画像を追加 / 削除することもできます。
- 編集エリアで、特定のセルを選択して、日ボタンをクリックして、スライドショーで表示するエリアを指定します。
- 追加ツールエリアで、[リミックス]ボタンをクリックして、新しいバージョンのスライドショーを生成します。
- プレビューエリアで、再生コントロールを使ってスライドショーをプレビューします。

3D スライドショー

スライドショー デザイナーで 3D スライドショーをカスタマイズする場合、次の操作を行います。

- スライドエリアで、特定のスライドショースライドをクリックして、表示、編集します。
- 編集エリア(クロップエリア)で、3Dスライドに表示するエリアをクロップ(サイズ変更および移動)します。
- プレビューエリアで、再生コントロールを使ってスライドショーをプレビューします。

ハイライト スライドショー

スライドショー デザイナーでハイライト スライドショーをカスタマイズする 場合、次の操作を行います。

- スライドエリアで、特定のスライドショースライドをクリックして、表示、編集します。
- 追加ツールエリアで、[前景画像の編集]または[背景画像の編集]を選択し ます。
- 編集エリア(クロップエリア)で、スライドに表示するエリアをクロップ(サイズ変更および移動)します。

プレビューエリアで、再生コントロールを使ってスライドショーをプレビューします。

モーション スライドショー

スライドショー デザイナーでモーション スライドショーをカスタマイズする 場合、次の操作を行います。

- スライドエリアで、特定のスライドショースライドをクリックして、表示、編集します。
- 編集エリア(クロップエリア)で、Magic Motion デザイナーを使って、スラ イドのモーションをカスタマイズします。詳細は、60ページの「Magic Motion デザイナー」を参照してください。
- プレビューエリアで、再生コントロールを使ってスライドショーをプレビューします。

動画、画像、音声を作業領域に追加する

ここでは、タイプ別にメディアを作業領域に追加する手順について説明しま す。

注:ストーリーボードは、タイムラインよりもシンプルなビューです。ストーリー ボード ビューのマスター ビデオ トラックには、動画 / 画像クリップのみ追加でき ます。ここではタイムライン ビューの操作手順について説明します。

動画 / 画像クリップを追加する

動画および画像クリップは、マスター ビデオ トラック、または PiP (ピク) チャー イン ピクチャー) トラックのいずれかに追加できます。

注:トラック マネージャーではプロジェクトのタイムラインに PiP トラックが追加 でき、同時に最大 9 つの PiP オブジェクトが表示できます。詳細は、20 ページの 「トラック マネージャー」を参照してください。

動画 / 画像クリップを作業領域に加えるには、次の操作を行います。

- クリップを選択して、 クリックしてマスタービデオトラックに追加します。または、 そうしょうをクリックして PiPトラックに追加します。
- マスタービデオトラックまたは PiPトラックの適用する位置にクリップを ドラッグします。マスタービデオトラックにクリップを追加する場合、ク リップの前後に空間を置くことはできません。マスタービデオトラックの 末尾に追加するクリップは、そのトラックの最後のクリップの直後に配置 されます。

注:複数のクリップを一括して同じトラックにドラッグできます(すべてのクリップがドラッグ先のトラックに対応する場合)。

 必要に応じて、クリップを右クリックして[ビデオトラックに追加]または [PiPトラックに追加]を選択します。

作品の基本的な枠組みを作るには、動画 / 画像クリップをマスタービデオト ラックに追加します。メディアを PiP トラックに追加すると、PiP エフェクトが 作成されます。

注:動画中の PiP エフェクトをカスタマイズするには、PiP デザイナーを使用しま す。詳細は、63 ページの「PiP デザイナーで PiP エフェクトを修正する」を参照して ください。

カラーボードを追加する

カラーボードを使用すると、単一色の映像を挿入できます。カラーボードは、 動画クリップ間のトランジションや、タイトルまたはエンディング クレジット の背景などに使えます。

カラー ボードをタイムラインに追加するには、 **「**たちをクリックして、[**カラー ボード**]フォルダーを選択するか、ライブラリーのドロップダウン メニューか ら選択します。

注:カラーボードは、マスター ビデオ トラックまたは PiP トラックのいずれかに追 加できます。

音声クリップを追加する

音声クリップ (BGM やナレーションなど) も動画に追加できます。 CyberLink PowerDirector では、4つの音声トラック (音楽トラック X 3、音声トラック X 1) が使用できます。

注:トラックマネージャーではプロジェクトのタイムラインに音楽トラックが追加でき、同時に最大3曲の音楽が再生できます。詳細は、20ページの「トラックマネージャー」を参照してください。

音声を作業領域に加えるには、次の操作を行います。

- 1つ以上の音声クリップを音声/音楽トラックの適用する位置にドラッグします。音声クリップはこのトラックの任意の位置に加えることができます。
- 必要に応じて、クリップを右クリックして[音声トラックに追加]または[音楽トラックに追加]を選択します。

注:音声ファイルはタイムラインビューの作業領域にのみ加えることができます。 音声ファイルをストーリーボードビューの作業領域にドラッグしようとすると、 作業領域は自動的にタイムラインビューに切り替わります。

ビデオ エフェクト、PiP オブジェクト、パーティクル エフェクト、タイトル、トランジションを追加する

ここでは、ビデオ エフェクト、PiP オブジェクト、パーティクル エフェクト、 タイトル、トランジションを作業領域に追加する方法を説明します。

注:必要に応じて、DirectorZoneから追加の PiP オブジェクト、パーティクルエフェクト、タイトルをダウンロードできます。詳細は、25 ページの「DirectorZoneからテンプレートをダウンロードする」を参照してください。

ビデオ エフェクトを追加する

ビデオ エフェクトをタイムライン のクリップに加えるには、次の操作を行い ます。

- エフェクトを選択して、 第二道 をクリックして、エフェクトトラックのタイムラインスライダーの現在の位置に加えます。
- エフェクトを[エフェクト ルーム]からマスタービデオ トラックのエフェ クト トラック下のクリップに直接ドラッグします。
- エフェクトを右クリックして [タイムラインに追加 / 置換]を選択して、エフェクトをタイムラインスライダーの現在の位置に追加 / 置き換えます。

田(をクリックして[ビデオエフェクトをランダムに適用]を選択すると、エフェクトをタイムラインスライダーの現在の位置にランダムに追加します。

注:[**修正**]ボタンをクリックして、エフェクトのオプションを変更します。詳細は、62ページの「ビデオ エフェクトを修正する」を参照してください。

ビデオ エフェクトをタイムラインの **クリップ全体** に追加するには、次の操作 を行います。

エフェクトをマスタービデオトラックの適用するクリップにドラッグします。選択したビデオエフェクトがクリップ全体に適用されます。

注:[**エフェクト**]ボタンをクリックして、エフェクトのオプションを変更します。 詳細は、62ページの「ビデオ エフェクトを修正する」を参照してください。

PiP オブジェクトを追加する

PiP オブジェクトをタイムラインに追加するには、次の操作を行います。

注:トラック マネージャーではプロジェクトのタイムラインに PiP トラックが追加 でき、同時に最大 9 つの PiP オブジェクトが表示できます。 詳細は、20 ページの 「トラック マネージャー」 を参照してください。

- オブジェクトを選択して、 ディング をクリックして、 PiP トラックのタイムライン スライダーの現在の位置に加えます。
- オブジェクトを [PiP オブジェクト ルーム] から PiP トラックの適用する位置 にドラッグします。
- オブジェクトを右クリックして、[タイムラインに追加 / 置換]を選択して、 タイムラインスライダーの現在の位置に追加 / 置き換えます。

注: DirectorZone Web サイトから PiP オブジェクトをダウンロードすることもでき ます。詳細は、25 ページの「DirectorZone からテンプレートをダウンロードする」 を参照してください。

オブジェクトを PiP トラックに追加したら、[**修正**]ボタンをクリックして、PiP デザイナーでオブジェクトの位置やモーションなどを編集します。詳細は、63 ページの「PiP デザイナーで PiP エフェクトを修正する」を参照してください。

パーティクル エフェクトを追加する

パーティクル エフェクトをタイムラインに追加するには、次の操作を行いま す。

- パーティクルエフェクトを選択して、 ごう をクリックして、 PiPト ラックのタイムラインスライダーの現在の位置に加えます。
- パーティクルエフェクトを[パーティクルルーム]から PiPトラックの適用 する位置にドラッグします。
- オブジェクトを右クリックして、[タイムラインに追加/置換]を選択して、 タイムラインスライダーの現在の位置に追加/置き換えます。

注: DirectorZone Web サイトからパーティクル エフェクトをダウンロードすること もできます。詳細は、25 ページの「DirectorZone からテンプレートをダウンロード する」を参照してください。

パーティクル エフェクトを PiP トラックに追加したら、[**修正**]ボタンをクリッ クして、パーティクル デザイナーでプロパティーを編集します。詳細は、69 ページの「パーティクル デザイナーでパーティクル エフェクトを修正する」を 参照してください。

タイトル エフェクトを追加する

タイトル エフェクトをタイムラインに追加するには、次の操作を行います。

- タイトルテンプレートを選択して、
 タイトルトラックをタイムラインスライダーの現在の位置に加えます。
- エフェクトを[タイトル ルーム]からタイトルトラックの適用する位置に ドラッグします。

注: DirectorZone Web サイトからタイトル テンプレートをダウンロードすることもできます。詳細は、25ページの「DirectorZone からテンプレートをダウンロードする」を参照してください。

タイトル テンプレートをタイトル トラックに追加したら、[**修正**]ボタンをク リックして、タイトル デザイナーで編集します。詳細は、72 ページの「タイト ル デザイナーでタイトル エフェクトを修正する」を参照してください。

トランジションを追加する

トランジションをタイムラインに追加するには、次の操作を行います。

 トランジションエフェクトを選択し、適用するマスタービデオトラックの クリップの間にドラッグします。

注:トランジションの所要時間を手動で設定できます。詳細は、55ページの「クリップの所要時間を設定する」を参照してください。

トランジションをタイムラインの**すべてのクリップ**にランダムに追加するに は、次の操作を行います。

- トランジションを選択して
 ボタンをクリックして、タイムライン上のすべてのクリップにトランジションをランダムに追加します。
- トランジションを選択して
 ・ ドランジションを選択して
 ・ ボタンをクリックして、タイムラ
 イン上のすべてのクリップにフェード
 トランジションを追加します。

ライブラリー ウィンドウで **日** をクリックしてから、[**すべてにトランジション エフェクトをランダムに適用**]または[**すべてにフェード トランジションを** 適用]を選択します。

メディアを編集する

メディアを作業領域に用意したら、編集作業ができます。編集作業には、動画 または音声クリップから不要なセクションを削除、動画クリップの速度を調 節、動画および画像の修正など、さまざまな処理機能があります。ここでは、 メディア クリップごとに、適用できる編集処理について説明します。

注:ここで説明する機能は、タイムラインビューでのみ実行できます。

クリップを分割する

タイムラインで 1 つのメディア クリップを選択したら、[**分割**]をクリックし て、タイムライン スライダーの現在の位置でクリップを2つに分割します。こ の機能を使って、クリップの不要な部分をカットしたり、カラー ボードを挿入 したり、他のメディアを挿入したりできます。

注:必要に応じて、2つに分割された部分を右クリックして、[結合]を選択して元 に戻すこともできます。

動画 / 音声クリップをトリミングする

キャプチャーした動画 / 音声の中には、不要な部分 (メディアの最初、中間、 最後) が含まれる場合があります。これらの不要部分は、トリム機能を使って カットすることができます。

注:動画または音声クリップをトリミングしても、元のコンテンツは影響されません。

マルチトリムを実行する

動画クリップをトリミングするには、[マルチトリム]機能を使います。[マル チトリム]機能を使うと、[マルチトリム]編集ウィンドウが別に表示され、 動画クリップの一部分もしくは複数部分を一度にトリミングすることができま す。マルチトリムツールを使用して、シーンを検出することもできます。



A - プレビュー エリア、B- タイムライン拡大スライダー *、C - タイムライン、D - タイムライ ン拡大スライダー (大)、E - トリム エリア、F - 拡大ツール *、G - トリミング ツール、H - 再生 コントロール、I - フレーム ディスプレイ

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。 動画をトリミングするには、タイムラインの動画クリップを選択して、[**マル チトリム**]をクリックします。[マルチトリム]ウィンドウでは、次の操作がで きます。

- 拡大ツールの こ および こ を使って、動画クリップの拡大レベルを設定します。タイムライン拡大ツールのサイズは、選択した拡大レベルによって異なります。
- タイムライン拡大ツールをタイムラインに沿ってドラッグして、トリミン グする動画部分を探します。
- タイムラインスライダーを使って、トリミングする動画クリップの開始位置および終了位置を設定します。再生コントロールを使って、フレームを探すこともできます。
- トリミング ツールの Set をクリックしてトリミングする開始位置を、 た クリックして終了位置をマークします。

注:タイムラインに挿入する動画部分は青色に表示されます。タイムラインから指 定した部分以外を選択する場合は、トリム エリアの [指定範囲以外 (反転)]ボタン をクリックします。

- トリムエリア上のタイムラインスライダーを動かして、トリミングツールの一番ボタンをクリックして、動画を2つのクリップに分割します。
- トリミング ツールの 一 ボタンをクリックして、動画クリップ中のすべてのシーンを検出します。タイムラインにマークをつけるか、シーンを自動的に分割します。

音声/動画クリップをトリミングする

音声 / 動画クリップをトリミングするには、タイムラインからトリミングする クリップを選択し、[**トリム**] をクリックします。

トリムウィンドウでは、次の操作ができます。

- ・ □ および
 ・ を使って、クリップの拡大レベルを設定します。
- タイムラインスライダーまたは再生コントロールを使って、トリミングするクリップの開始位置および終了位置を設定します。
- ・

 をクリックしてトリミングする開始位置を、
 をクリックして終了位 置をマークします。

クリップの所要時間を設定する

タイムラインで[**所要時間**]ボタン(またはクリップを右クリップして[**所要時** 間]を選択)をクリックして、画像、タイトルエフェクト、PiPメディア、トラ ンジションの所要時間を設定します。

上に挙げたメディアまたはトリミング済み動画クリップの所要時間を変更する ことができます。変更するには、クリップを選択して、クリップの終了位置を 希望の場所までドラッグします。



注:動画クリップの長さは最大元の所要時間まで、トランジションは最短クリップ の半分の所要時間までしか変更できません。

メディア クリップをミュートする

メディア クリップ中の音声部分をミュートするには、クリップを右クリックして、[ミュート(クリップ)]を選択します。追加したボリューム キーは非表示になります。



ミュートを解除するには、トラックを右クリックして、[ミュート(クリップ)] を選択解除します。

注:トラック全体の音声をミュートするには、トラックを右クリックして、[ミュート(トラック)]を選択します。この機能は、PiPトラックに動画を配置し、出 カムービーに動画中の音声を含みたくない場合に便利です。

画像を編集する

タイムラインの画像を選択し、[**画像の編集**]ボタン*をクリックし、 CyberLink PhotoNow!を使って編集します。画像編集の詳細は、PhotoNow!のへ ルプファイルを参照してください。画像編集が完了すると、編集済ファイルは タイムラインに配置されます。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

画像 / 動画を補正 / 強調する

タイムラインのメディアを選択し、[補正/強調]ボタンをクリックすると、 様々な方法で画像/動画の編集(動画ノイズ除去など)ができます。機能の詳細 は、1 ボタンをクリックしてヘルプファイルを参照してください。

パワーツール

タイムラインの動画を選択して、[パワーツール]ボタンを選択すると、次の 機能が実行できます。

- ・動画逆再生:選択した動画を逆再生します。
- 動画クロップ:動画クリップの一部をクロップまたは拡大します。[動画クロップ]ボタンを選択して、拡大またはクロップする部分を指定します。クロップした部分にモーションをつけることもできます。動画のクロップ部分にモーションをつける方法は、60ページの「Magic Motion デザイナー」を参照してください。

 動画速度:動画クリップの速度を変更します。スローモーション効果や高速 モーション効果は、見る人の注意を引き付け、動画のリズムを変えること ができます。スローモーションを適用するには、[スローモーションビデオ (フレーム挿入技術採用)]オプションを使用します。[音声のストレッチ]
 (0.5X ~ 2X)を選択して、既存音声を新規の動画長さに合わせます。このオ プションを選択解除すると、音声をミュートします。[新規の動画長さ]に 動画長さを入力して、手動で動画の速度を調節することもできます。
 動画回転:動画を右回転(最大 270 度)します。

フレーム固定エフェクト

タイムラインの動画クリップを選択して、[フレーム固定]ボタンをクリック して、フレーム固定エフェクトを作成します。動画の現在のフレームのスナッ プショットを取得し、タイムラインにフレーム固定エフェクトを挿入します。 挿入した画像やエフェクトを編集して、フレーム固定エフェクトが効果的に働 くように調節します。

環境設定でオプションを選択解除して、エフェクトを挿入しないよう設定する こともできます。詳細は、35ページの「編集の環境設定」を参照してください。

時間情報

RichVideo 動画クリップまたは EXIF 画像をタイムラインに追加すると、[時間情報]ボタンが表示されます。[時間情報]ボタンをクリックすると、日付キャプション、またはキャプチャ元(カムコーダーやデジタルカメラ)のタイム コードが有効になります。必要に応じて、動画や画像にテキスト注釈を追加することもできます。

動画クリップのインターレース形式を設定する

動画クリップにはすべて、インターレース (TV) 形式が設定されています。これ は、フレームの表示方法を指定したもので、動画クリップの TV 信号形式が一致 しない (または無効) 場合は、最終出力の画質を落とすことになります。

動画を出力する前に、すべての動画クリップを同じ形式に設定します。通常、 正しい形式を検出および提案が表示されますが、一部のインターレースビデオ (動きが非常に少ない動画など)では、判定を誤ってプログレッシブビデオと する場合があります。 CyberLink PowerDirector では DVD、SVCD、DV-AVI に対して、自動的にインター レースビデオを出力するため、形式を間違って設定したことが確かな場合にの み、この設定を変更してください。

注:これは完成作品の画質に大きく影響するため、出力前に必ず実行しなくてはな らない重要な作業です。

動画クリップの TV 信号形式を設定するには、インターレース形式に設定する 動画クリップを右クリックし、[TV **信号形式**] を選択します。

動画クリップの縦横比を調節する

動画クリップの縦横比は通常、4:3 または 16:9 のいずれかに設定されています。 メディア クリップや再生メディアに応じて、動画の縦横比を調節します。出力 前に、すべての動画クリップの縦横比がプロジェクトの縦横比に一致するよう に設定します。

プロジェクトの縦横比およびクリップの縦横比に応じて、2つのオプションから選択します。

プロジェクトの縦横比が 4:3 である場合に、16:9 の動画クリップを出力するに は、縦横比を調節する動画クリップを右クリックし、[**縦横比**]を選択します。

Magic ツールを使用する

Magic ツールは、音声、動画、画像などのクリップをクイック編集する便利な ツールです。Magic ツールを使用すると、作品にクリエイティブなスタイルを 追加したり、ぴったりの BGM を追加したりすることができます。利用できる Magic ツールは次の通りです。

- Magic Movie ウィザード:スタイリッシュなエフェクトとトランジションを 組み合わせて動画を自動作成します。
- Magic Fix: 手ぶれ動画の補正、動画画像の改善、赤目除去、画像焦点の改善 などの画像 / 動画補正をします。
- Magic Motion: 画像にズーム及びパンを適用します。Magic Motion デザイ ナーを使って、画像に手動でモーションを加えることも出来ます。
- Magic Cut: 長い動画を短縮して、最高のシーンを含む動画を作成します。

- Magic Style: デザイン済みのテンプレートを使って、プロフェッショナルな 動画を自動作成します。
- Magic Music*: 所要時間に合わせて自動調節した BGM を追加します。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

Magic ツールにアクセスするには、タイムラインの左側のアイコンをクリック するか、 (編集] > [Magic ツール] をクリックします。

Magic Movie ウィザード

初めて編集する場合や、編集の始め方などが不確かな場合には、Magic Movie ウィザードが役に立ちます。このツールを使えば、簡単な手順で プロ級の作品を作成することができます。Magic Movie で作成した作品 は、作業領域で編集や手直しをして、ファイルに出力したりディスクに書き込 むことができます。この機能の詳細は、42ページの「Magic Movie ウィザード」 を参照してください。

Magic Fix

Magic Fix を使うと、手ぶれ動画を補正したり、動画の音声や映像の画像 を改善することができます。このツールを使って画像から赤目を除去し たり、焦点のぼけた画像を改善をすることもできます。機能の詳細は、1 ボタ ンをクリックしてヘルプファイルを参照してください。

Magic Motion

Magic Motion ツールは、画像をズームまたはパンさせることにより、動 画効果を生み出します。単純なスライドショーを魅力的なプレゼンテー

ションに変えることのできるツールでもあり、Magic Music と組み合わ せて使用すると、より効果的です。プロジェクトの画像ごとに異なるモーショ ンテンプレートを選択し、Magic Motion デザイナーで動画編集を加えます。 Magic Motion デザイナー

モーション テンプレートを選択して画像に適用したら、[**モーション デザイ** ナー]を選択して画像の動きをカスタマイズします。



A - プレビュー エリア、B - 回転角度、C - フォーカス エリア、D - タイムライン インジケー ター、E - キーフレーム インジケーター、F - モーション パス、G - 拡大 / 縮小、H - TV セーフ ゾーン / グリッド ライン、I - キーフレーム ボタン、J - キーフレーム タイムライン、K - 再生コ ントロール

モーション デザイナーはキーフレームを使って、画像のモーションをカスタマ イズします。キーフレームとは、エフェクト (モーションおよびフォーカス エ リア)の始点と終点を示すフレームです。

Magic Motion デザイナーでできることは次の通りです。
- 再生コントロールを使うかスライダーをドラッグして、現在のモーション をプレビューウィンドウに表示します。
- ・ をクリックして、キーフレームタイムラインの前 / 次のキーフレームをコピーします。指定したキーフレームのプロパティーが新しい位置にコピーされます。
- フォーカスエリアのサイズを変更して、表示する画像部分を設定します。
- モーションパスをクリック&ドラッグして、フォーカスエリアの動きを設定します。
- フォーカスエリアに回転エフェクトを追加(回転角度を入力)したら、
 をクリックします。
 をクリック&ドラッグし、手動でフォーカスエリアを回転します。
- 1002 ▼ をクリックして、画像を拡大 / 縮小します。細かい部分の確認は 拡大が、画面外からの移動確認には縮小が適しています。
- ・ をクリックして、[TV セーフゾーン]および[グリッド ライン]をオンにして、画像のフォーカスエリアを正確に処理します。[グリッド枠に合わせる]を選択して、フォーカスエリアをグリッド ライン、TV セーフゾーン(表示範囲)、境界線に配置します。

Magic Cut

Magic Cut は、「Magic」動画技術を使い、不必要と思われる部分を排除 し、最も興味深い瞬間を検出・保持する編集機能です。Magic Cut ツール は、長い動画部分をより短く凝縮する便利なツールです。例えば、1時 間の動画を10分に短縮することが可能です。

注:短縮したい動画クリップの長さが15分未満で、既に編集されていたり、重要 な部分を含んでいる場合は、手動で編集(マルチトリム機能などを使用)したほう がよい場合があります。詳細は、52ページの「動画/音声クリップをトリミングす る」を参照してください。

Magic Style



Magic Style を使うと、様々なテンプレートを使ってプロ級の動画を自動 作成することができます。Magic Style には、オープニング シークエンス、 トランジション、エフェクトが含まれています。このツールは、オープニング タイトルやビデオ エフェクト、トランジションなどの設定に時間を費やさず に、見栄えのする動画を作成する便利なツールです。

Magic Music

\$.

Magic Music* を使うと、プログラムに含まれる音楽の使用や購入、ダウンロードしたトラックを動画に適用することができます。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。 SmartSound 関連の著作権や購入情報を見る には、[SmartSound] ボタンをクリックします。

Magic Music ツールは、フォト スライドショーの編集に最適なツールです。

エフェクトを修正する

CyberLink PowerDirectorのほとんどのエフェクトがカスタマイズ可能です。ここでは、オプション設定の機能や操作手順の一部を説明します。

ビデオ エフェクトを修正する

多くのビデオ エフェクトでプロパティーのカスタマイズができます。例えば、 キーフレームやスライダーを使って強度レベルやランダム設定ができます。ビ デオ エフェクトは、エフェクトの時間内に表示されるマスタービデオ トラッ クのクリップにのみ適用されます。

ビデオ エフェクトを修正するには、エフェクトをダブルクリックまたは選択して[**修正**]をクリックします。(クリップ全体に適用したエフェクトを修正するには、クリップを選択して[**エフェクト**]をクリックします。)修正オプションは、選択したエフェクトの設定によって異なります。

ー部のエフェクトでは、キーフレームを使ってプロパティーをカスタマイズします。キーフレームとは、エフェクト (2 つのキーフレーム間のレベルなど)の 始点と終点を示すフレームです。

 再生コントロールを使うかスライダーをドラッグして、エフェクト プロパ ティーをプレビュー ウィンドウに表示します。
 ・
 をクリックしてキーフレームを追加します。キーフレームを追加する
 ことによって、エフェクト プロパティーの変更(キーフレーム タイムライ
 ンの2点間を変更)ができます。

注: クリップ全体に適用したエフェクトを削除するには、エフェクトの設定ウィン ドウでエフェクト名を選択解除します。

PiP オブジェクトを修正する

[PiP オブジェクト ルーム] から PiP トラックにオブジェクトを挿入すると、そのオブジェクトも他の PiP 画像や動画と同様の方法で設定できます。シャドウ(影) やクロマ キー エフェクトなどを追加して、オブジェクトのサイズや位置を 変更します。

PiP デザイナーで PiP エフェクトを修正する

PiP (Picture-in-Picture)エフェクトを使うと、画像、動画、オブジェクトを PiP クリップとしてメインの画像や動画クリップ内に挿入することができます。PiP

デザイナーを使うと、重なったクリップの透明度、位置、モーション、その他のプロパティーを修正できます。



A - DirectorZone にアップロード、B - PiP エフェクト プロパティー タブ、C - PiP エフェクト プ ロパティー、D - モーション タブ、E - カスタム テンプレートの保存、F - PiP マスク タブ、G-PiP オブジェクト、H - マスター ビデオ、I - TV セーフゾーン / グリッドライン、J - PiP/ キーフ レーム タイムライン

PiP デザイナーを開く手順:

- ・ PiP トラックのアイテムを選択して [修正]をクリックします。
- [PiP オブジェクト ルーム]で をクリックし、カスタム画像をインポートして新規の PiP オブジェクト テンプレートを作成します。
- [PiP オブジェク ルーム]で、既存の PiP オブジェクトを選択して リックして既存のテンプレートを編集します。

PiP エフェクト サイズと位置を修正する

PiP エフェクトのメディア クリップまたはオブジェクトのサイズと位置が変更 できます。変更できる大きさに制限はありません。クリップを小さく縮小した り、下のメディア ファイルが完全に見えなくなるまで拡大することもできま す。

注: [...] をクリックして、[TV セーフ ゾーン] および [グリッド ライン] をオ ンにして、マスター ビデオの PiP エフェクトの動きを正確に処理します。[**グ** リッド枠に合わせる] を選択して、PiP エフェクトをグリッド ライン、TV セーフ ゾーン (表示範囲)、境界線に配置します。

サイズ、位置、方向の修正方法:

角か側面をクリック&ドラッグして PiP オブジェクトのサイズを変更します。

注:[縦横比を維持]を選択解除すると PiP オブジェクトのサイズは自由に変更できます。

- PiP オブジェクトをクリック&ドラッグして移動します。
- PiP オブジェクト上部の
 をクリックして方向を変更します。

PiP エフェクトのプロパティーを修正する

PiP エフェクト プロパティーの設定オプションは次の通りです。

- [クロマキーの適用]のチェックボックスを選択し、 をクリックして PiPオブジェクトにクロマキーを適用します。クロマキーウィンドウで、 画像/動画クリップの色を選択し、輝度レベルスライダーを調節して下の 画像/動画と合成させます。このエフェクトで選択した色の部分が透明にな ります。
- [シャドウの適用]のチェックボックスを選択し、 を をクリックして PiP エフェクトのクリップにシャドウ(影)を適用します。シャドウオプション で、シャドウの色や方向、PiPエフェクトからの距離を変更します。 スライ ダーを使ってシャドウの透明度やぼかしレベルを調節することもできます。

- 「境界線の適用」のチェックボックスを選択し、
 フェクトのクリップに境界線を適用します。境界線オプションで、境界線の
 色、方向、サイズなどを変更します。スライダーを使って境界線の透明度や
 ぼかしレベルを調節することもできます。
- [フリップオブジェクトを有効化する]を選択して、PiPオブジェクトを[上下逆]または[左右逆]に配置します。

PiP エフェクトにモーションを追加する

PiP モーション タブでは、PiP エフェクトにモーション * を適用し、画面上を移 動させることができます。 モーションのテンプレートから選ぶことも、モー ションをカスタマイズ作成することもできます。 PiP エフェクトの透明度、回 転、フェードイン / フェードアウトの設定もできます。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

モーション テンプレートを使って PiP エフェクトを追加する

PiP にモーション テンプレートを加えるには、[モーション] タブをクリックし て PiP モーションのオプションを表示し、一覧から適用するモーションを選択 します。

PiP エフェクト モーションをカスタマイズする

PiP デザイナーではキーフレームを使って、PiP エフェクトのモーションや透明 度をカスタマイズします。キーフレームとは、エフェクト (モーションおよび 透明度)の始点と終点を示すフレームです。

注:オブジェクトには、定義済みのモーションが既に適用されている物もありま す。

PiP エフェクトのモーションをカスタマイズするには、次の操作を行います。

既存のキーフレームをプレビューウィンドウの新しい位置にドラッグします。PiP エフェクトは変更したキーフレームに沿って移動します。

- パス ラインをドラッグして PiP エフェクトのパスを変更すると、次のキー フレームまで移動します。
- キーフレーム追加ボタン
 ケー をクリックして、必要な個所に新しいキーフレームを追加します。
- ・
 をクリックして、キーフレーム タイムラインの前 / 次のキーフレー ムをコピーします。指定したキーフレームのプロパティーが新しい位置にコ ピーされます。

PiP エフェクト モーションの速度をカスタマイズする

PiP エフェクトはモーション速度のコントロールができます。次の3つの要因で PiP エフェクトのモーション速度が決まります。

タイムラインの PiP クリップの表示時間

PiP クリップが長いほど、PiP オブジェクトのモーションは遅くなります。例えば、PiP クリップが 10 秒の場合、PiP エフェクトがモーションを完全に適用す るのに 10 秒かかります。

キーフレーム間の距離

キーフレーム間の距離は、PiP エフェクト モーションの速度に影響します。 キーフレーム間の距離が離れているほど、PiP エフェクトが次のキーフレーム に達するまでの時間が短くなります。

キーフレーム タイムライン

キーフレーム タイムラインはプレビュー ウィンドウの下にあります。モーショ ンパスのキーフレームは、それぞれキーフレームのタイムラインに対応した印 (マーカー)が付いています。

タイムラインの PiP クリップが 10 秒の場合は、キーフレームのタイムラインも 10 秒です。PiP エフェクトのモーション速度を上げるには、キーフレームの マーカーを前のキーフレームのマーカーに近づけます。



PiP エフェクトの透明度を設定する

[透明度]スライダーを使って、PiPエフェクトの透明度を調節します。

注:キーフレームを使って、PiPエフェクトの透明度をコントロールします。

PiP エフェクトの回転をカスタマイズする

PiP エフェクトの回転をカスタマイズするには、[回転設定]で、PiP の回転角度 を入力し、次のいずれかを選択します。

- PiPエフェクトを反時計回りのに回転する。
- PiPエフェクトを時計回り へに回転する。

PiP テンプレートを保存、共有する

PiP テンプレートの修正が完了したら、PiP オブジェクト ライブラリーに保存し て後で使用したり、DirectorZone にアップロードして共有したりすることがで きます。

- ・ [共有]をクリックして、カスタマイズしたテンプレートを DirectorZone に アップロードします。
- ・ [保存]をクリックして、修正したテンプレートを PiP オブジェクト ライブ ラリーに保存します。
- ・

 ・
 をクリックして、修正した PiP エフェクトのモーション パスをカスタ ム パスとして保存します。
 ・

PiP エフェクト マスクを追加する

PiP マスク タブで、PiP エフェクトまたはマスター ビデオにマスクを追加する ことができます。最終出力のマスター ビデオまたは PiP エフェクトの一部を表 示 / 非表示する場合にこの機能を使います。[透明度] スライダーを使って透明 度を調節します。

パーティクル デザイナーでパーティクル エフェクト を修正する

パーティクル エフェクトを使うと、パーティクルオブジェクト (雪、粒子など)を既存の画像や動画クリップに挿入できます (既存のクリップに PiP エフェクトをオーバーレイ)。

パーティクル デザイナーを使って、パーティクル オブジェクトのプロパ ティーがカスタマイズできます。



A - DirectorZone にアップロード、B - パーティクル オブジェクト エリアの選択 / 編集、C - パー ティクル オブジェクトの追加 / 削除 / 編集、D - カスタム テンプレートの保存、E - パーティク ル オブジェクト、F - マスタービデオ、G - TV セーフ ゾーン / グリッド ライン、H - パーティク ル タイムライン パーティクル デザイナーを開く手順:

- PiPトラックのパーティクルエフェクトを選択して[修正]をクリックします。
- [パーティクル ルーム]で、 をクリックし、カスタマイズした画像をイン ポートして新しいパーティクルエフェクトテンプレートを作成します。
- [パーティクル ルーム]で、既存のパーティクル エフェクト テンプレート
 を選択してから 下した
 をクリックして既存のテンプレートを編集します。

パーティクルオブジェクトの範囲と位置を変更する

各パーティクルオブジェクトの範囲、位置、回転を変更できます。パーティク ルオブジェクトの範囲を広げて背景(マスタービデオ)をカバーしたり、位置 または方向を変更できます。

注: [..... をクリックして、[TV セーフ ゾーン] および [グリッド ライン] をオ ンにして、マスター ビデオのパーティクル オブジェクトの動きを正確に処理 します。[グリッド枠に合わせる] を選択して、パーティクル エフェクトをグリッ ド ライン、TV セーフ ゾーン (表示範囲)、境界線に配置します。

範囲、位置、方向を修正するには次の操作を行います。

- 修正するパーティクルオブジェクトを選択して、■をクリック&ドラッグして調節します。
- 📕 をクリック&ドラッグして移動します。

パーティクルオブジェクトおよび背景画像を追加する

追加のパーティクルオブジェクトをパーティクルエフェクト テンプレートに 追加したり、カスタム背景画像を挿入することができます。 ※・ をクリック して、追加するものをリストから選択します。新規のパーティクルエフェクト を追加すると、パーティクルオブジェクト プロパティーエリアが開きます。 背景画像をインポートすると、背景が置き換えられます。

パーティクルオブジェクトのプロパティーを編集する

パーティクルオブジェクトのプロパティーを編集するには、オブジェクトを選択して

注:編集する背景画像を選択する場合、利用可能なオプションは、他の画像への置き換えのみです。

パーティクル オブジェクト プロパティーの設定オプションは次の通りです。

- 放出スタイルを選択する:パーティクルの放出スタイルを選択します。一点 から放出、一列に放出、円状に放出することができます。パーティクル放出 元のマスクエリアを作成するのに、画像をインポートすることもできます。 インポートするマスクおよび変更サイズによって、パーティクルの放出ス タイルは異なります。
- パーティクルスタイルを選択する:パーティクルオブジェクトのスタイル を選択します。選択したプロパティーによって、パーティクルの形および動 きは異なります。エフェクトに合わせて最適なスタイルを選択します。
- パーティクルを追加 / 削除する: ・ パーティクルを追加 / 削除する: をクリックして画像をインポートしてカスタム パーティクルを作成します。カスタム パーティクルはいくつでも追加できます。または、既存のパーティクルを選択して

 クしてパーティクル オブジェクトを削除します。
- パラメーターを変更する:パーティクルオブジェクトのプロパティーをカスタマイズします。放出レート、最大数、放出時間、サイズ、距離のパラメーターを適切に設定します。

モーションをパーティクルオブジェクトに追加する

パーティクルオブジェクト モーション タブでは、パーティクルのソースに モーションを適用し、画面上を移動させることができます。モーションのテン プレートから選ぶことも、モーションをカスタマイズ作成することもできま す。パーティクルオブジェクトのモーション プロパティーは、PiP オブジェク トのプロパティーと似ています。パーティクルオブジェクトのモーションの詳 細は、66 ページの「PiP エフェクトにモーションを追加する」を参照してくだ さい。

パーティクル エフェクト テンプレートの保存と共有

パーティクル エフェクト テンプレートの修正が完了したら、パーティクル エ フェクト ライブラリーに保存して後で使用したり、DirectorZone にアップロー ドして共有したりすることができます。

- ・ [共有]をクリックして、カスタマイズしたテンプレートを DirectorZone に アップロードします。
- ・ [保存]をクリックして修正したテンプレートを[パーティクル ルーム]に 保存します。

タイトル デザイナーでタイトル エフェクトを修正す る

タイトルエフェクトを使って、開始画面のタイトルや、本編中の字幕やテロッ プ、終了画面のクレジットなどの、テキストを動画に追加します。テキストの スタイルを変更できるだけでなく、テキストを画面上で動かすこともできま す。タイトルは、タイトルの所要時間内に表示されるマスタービデオトラック のクリップにのみ適用されます。 タイトル デザイナーに含まれている、プリセット文字、アニメーション、背景 といったさまざまなオプションを使用することもできます。



A - DirectorZone にアップロード、B - テキスト プロパティー タブ、C - タイトル プロパティー、 D - アニメーション プロパティー タブ、E - カスタム テンプレートの保存、F - 背景プロパ ティー タブ、G - タイトル エフェクト、H - マスター ビデオ、I - TV セーフ ゾーン / グリッド ラ イン、J - タイトル / キーフレーム タイムライン

タイトルデザイナーを開く手順:

- タイトルトラックのタイトルエフェクトを選択してから、[修正]をクリックします。
- ・ [タイトル ルーム]で、 をクリックして新規のタイトルテンプレートを作成します。

[タイトル ルーム]で、既存のタイトルエフェクトを選択してから、 W クリックしてテンプレートを編集します。

タイトル デザイナーのタイトルにコンテンツを追加するには、次の操作を行います。

- ・ たクリックしてテキストに付ける画像を追加します。

タイトル エフェクトの位置を変更する

タイトル エフェクトのタイトルの位置および回転方向が変更できます。

注: [....] をクリックして、[TV セーフゾーン] および [グリッド ライン] をオンに して、マスタービデオのタイトルエフェクトの動きを正確に処理します。[**グリッ ド枠に合わせる**] を選択して、タイトルエフェクトをグリッド ライン、TV セーフ ゾーン (表示範囲)、境界線に配置します。

位置、回転方向の変更方法:

- タイトルをクリック&ドラッグして移動します。
- タイトル上部の Pをクリックして方向を変更します。

テキスト プロパティーを変更する

テキスト プロパティー タブでは、テキスト サイズ、スタイル、色、シャドウ および境界線の変更ができます。 プレビュー ウィンドウ上のオプションを使っ て、テキスト フォント スタイル、サイズ、太さ、配列を変更します。

プリセット文字をタイトル エフェクトに適用する

定義したプリセット文字をタイトル エフェクトに適用できます。 定義したプリ セット文字を適用した後は、必要に応じて、書体、シャドウ、境界線などを設 定して、タイトルに変更を加えることができます。

プリセット文字をタイトル エフェクトに適用するには、テキスト プロパ ティーのタブをクリックし、Aa をクリックします。変更するプレビュー ウィンドウのテキストを選択し、リストからプリセット文字をクリックしま す。

テキスト フォントをカスタマイズする

タイトル テキストのフォント (色、ぼかし、透明度など)のカスタマイズがで きます。 タイトル エフェクトのフォントをカスタマイズするには、テキスト プ ロパティーのタブをクリックし、 1000 をクリックします。

シャドウをタイトル テキストに追加する

タイトル エフェクトのテキスト周囲にシャドウ(影)を追加できます。シャド ウの色およびサイズ、テキストからの距離、ぼかしおよび透明度のレベルを設 定します。シャドウをタイトル エフェクトに追加するには、テキスト プロパ ティーのタブをクリックし、 をクリックします。

境界線をタイトル テキストに追加する

タイトル エフェクトのテキスト周囲に境界線が追加できます。境界線の色およびサイズ、ぼかしおよび透明度のレベルを設定します。境界線をタイトル エフェクトに追加するには、テキスト プロパティーのタブをクリックし、 なの、 をクリックします。

アニメーションをタイトル エフェクトに適用する

アニメーションをタイトル エフェクト (テキスト フェード、動き、ワイプなど)に適用できます。 アニメーション プロパティー タブでインポートした画像を 編集することもできます。

タイトルにテキストを適用するには、アニメーション プロパティーのタブをク リックし、アニメーションを適用するテキストをリストから選択するか、プレ ビュー ウィンドウ上のオブジェクトをクリックします。以下の操作を行いま す。

- [開始エフェクト]をクリックして、リストから開始アニメーションを選択します。
- ・
 [終了エフェクト]をクリックして、リストから終了アニメーションを選択します。

インポートした画像を編集するには、リストから画像オブジェクトを選択する か、プレビューウィンドウ上のオブジェクトをクリックします。クロマキー エフェクトを画像に適用したり、画像を上下逆にしたり左右逆にしたりするこ ともできます。 タイトル エフェクト アニメーションの速度をカスタマイズする

タイトル エフェクト アニメーションの速度を変更できます。次の2つの要因で アニメーションが完了するまでの速度が決まります。

タイムラインのタイトル エフェクト クリップの表示時間

プロジェクトのタイムラインのタイトル エフェクト クリップの表示時間が長 いほど、タイトル エフェクト アニメーションが完了する時間は長くなります。 例えば、タイトル エフェクト クリップが 20 秒の場合、タイトル エフェクトの アニメーションの開始から終了まで 20 秒かかります。

キーフレーム タイムライン

キーフレーム タイムラインはプレビュー ウィンドウの下にあります。タイトル エフェクト アニメーションには 4 つのキーフレームがあります。



最初の2つのキーフレームは、開始エフェクトの始点と終点を示し、残りの2 つは終了エフェクトの始点と終点を示します。

エフェクトの始点や終点や、エフェクトの開始から終了までの時間を変更する 場合は、キーフレームをタイムラインの希望する位置にドラッグします。



注:オレンジのラインは、開始エフェクト アニメーションが完了してからタイト ルエフェクトを表示する長さを示します。

背景画像をタイトル エフェクトに追加する

任意の背景画像をタイトルエフェクトに追加できます。背景画像はタイトルエフェクト全体に適用され、マスタービデオトラックのコンテンツをオーバー レイします。

背景画像をタイトル エフェクトに適用するには、背景プロパティーのタブをク リックし、リストから使用する背景を選択します。

注:気に入った背景画像がリストにない場合は、好きな画像がインポートできます。 **了**をクリックして、カスタム画像をインポートします。

タイトル テンプレートを保存、共有する

タイトル テンプレートの修正が完了したら、タイトル エフェクト ライブラ リーに保存して後で使用したり、DirectorZone にアップロードして共有したり することができます。

- ・ [共有]をクリックして、カスタマイズしたタイトルテンプレートを DirectorZone にアップロードします。
- [保存]をクリックして修正したテンプレートを[タイトル ルーム]に保存します。
- ・
 ・
 をクリックしてカスタマイズしたタイトルテキストを新規プリセット文字として保存します。
 ・

音声のミキシングと吹き替え

作品に音声を付けたり消したりできます。また、[音量ミキシング ルーム]で音 声レベルを調節したり、吹き替え音声を録音してナレーションを付けたりでき ます。

動画クリップから音声を分離する

動画クリップの音声を操作するには、動画クリップから音声を分離して音声ト ラックに挿入する方法が簡単です。

動画クリップから音声を分離するには、動画クリップをタイムラインで右ク リックし、[音声の分割]を選択します。音声がマスタービデオトラックから 音声トラックに移動します。

注:[音声の分割]機能では、動画クリップの音声を別のファイルとして抽出する ことはできません。動画クリップから音声を抽出するには、32ページの「動画ク リップから音声を抽出する」を参照してください。

音声クリップの音量レベルを変更する

動画には、音楽トラック、音声トラック、マスタートラックの動画クリップの 音声が含まれます。それぞれのトラックは異なるレベルで録画(録音)されてい るため、音量レベルが異なる場合があります。 [音声ミキシング ルーム]で、すべての音声レベルを調和の取れた音声に調節 できます。

トラック内の音声ミキシング

タイムラインの音声クリップの任意の位置で音量レベルを手動で変更できま す。

タイムラインの音声トラックの音量レベルを変更するには、音声レベルを変更 する場所をクリックして、ボリュームキーを設定します。音量を上げるにはボ リュームキーを上に、音量を下げるにはボリュームキーを下にドラッグしま す。

MUSICIA MP3*

注:ボリューム キーを削除するには、ボリューム キーをクリップの枠の外にド ラッグします。

音声ミキシング ルームで音声レベルのミキシングを行う

[音声ミキシング ルーム]の音声ミキサーを使って、作業領域の音声クリップ の音量レベルを細かく調節できます。 音声ミキサーでは、作業領域のすべての音声トラックに対応して音量レベルを 調節できます。



A - PiP トラック セレクター、B - 音量コントロール、C - 音楽トラック セレクター、D - フェー ドイン / フェードアウト コントロール、E - 音量 (音楽) コントロール

[音声ミキシング ルーム]では、タイムラインの現在位置にある音声を調節で きます。再生コントロールを使って、音声をミキシングする位置を検索します。

- ・ 音量コントロールスライダーを使って、トラックの各個所で音量を調節します。
- トラック音量(音楽)のコントロールスライダーを使って、トラック全体の 音量を調節します。

注:タイムラインに2つ以上の PiP トラックがある場合、PiP および音楽トラック セレクターを使って、音声をミキシングするトラックを選択します。

音声クリップにフェード エフェクトを適用する

音声クリップにフェードイン / フェードアウト効果を適用するには、フェード 効果を開始する音声の位置をクリックし、次の操作を行います。

- ・ 列 をクリックしてフェードイン エフェクトを適用します。

音声クリップの音量レベルを元に戻す

ボリュームキーを手動で設定後、音声クリップの音量レベルに満足いかない場合は、元の音量レベルに戻すことができます。音声クリップを右クリックして、 [元の音量レベルに戻す]を選択します。追加したボリュームキーは削除されます。

吹き替えを録音する

[吹き替え録音ルーム]では、動画を見ながらマイクを使ってナレーションを 録音することができます。録音したナレーションの音声トラックは、自動的に 動画に同期されます。



A - 録音音量調節スライダー、B - 録音設定ボタン、C - 録音 / 停止ボタン、D - フェードイン / フェードアウト ボタン

吹き替え設定は、次の通りです。

- ・ [デバイス]を選択して、[音声デバイス]および[音声入力]を指定します。
- [プロファイル]を選択して、音質を設定します。
- [環境設定]を選択して、最大録音時間や3秒後の録音開始を設定します。
 自動フェードイン/フェードアウトも設定できます。
- 吹き替えにフェードイン / フェードアウト効果を適用するには、次の操作 を行います。
 - ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<

•

をクリックして、録音を開始します。プレビューウィンドウで動画を
 見ながら、吹き替え録音をします。
 をクリックして録音を停止します。

チャプター

チャプターはディスクの頭出しを容易にする機能です。チャプターとは特定の 場所にジャンプさせるマーカーのことで、チャプターを挿入すれば、再生の際 にメニューページからチャプターが設定された位置にジャンプできます。

注: チャプターを設定しない場合は、ディスクをプレーヤーに挿入すると、再生が 自動的に開始します。

チャプターを設定する

チャプターを設定するには、[チャプター ルーム]で次のいずれかを実行しま す。

- 各動画クリップの開始位置にチャプターを設定するには、
 たクリックします。
- チャプターを一定の時間隔で設定するには、間隔(分単位)を入力し、
 この時間隔で設定するには、間隔(分単位)を入力し、
- チャプターを等分割で指定するには、入力ボックスにチャプターの数を入力し、
 カし、
 アクリックします。
- チャプターポイントを手動で設定するには、タイムラインの設定位置に移動して、 4
- チャプターポイントを削除するには、
 ・ をクリックします。
- 設定したチャプターポイントをすべて削除するには、 一をクリックします。

チャプター サムネイルを設定する

ディスク メニューに表示する各チャプターのサムネイル イメージをカスタマ イズできます。プレビュー ウィンドウで、チャプター サムネイルに設定する フレームのときに

字幕

CyberLink PowerDirector を使って、ディスクや動画ファイルに字幕を書き込む ことができます。字幕は、テキスト ファイルからインポートしたり、手作業で [字幕ルーム]に追加したりできます。

動画作品に字幕を付けるには、[字幕ルーム]の

□

□

■

をクリックして次のいず

れかの字幕タイプを選択します。

ソフトサブ (DVD 字幕): このオプションを選択すると、大半の DVD 再生ソフトと互換性のある字幕を作成します。字幕は、市販のディスクと同じように表示 / 非表示が切り替えられます。

注:[**ソフト サブ** (DVD **字幕**)]を選択すると、CyberLink PowerDirector で作成した ディスクメニューに字幕オプションが表示されます(デフォルト)。テキスト形式の 字幕には制限があります。

ハードサブ(焼き付け字幕):このオプションを選択すると字幕を動画に焼き付けます。

字幕を追加する

動画作品に字幕を挿入するには、次の操作を行います。

- 再生コントロールを使って字幕を付ける開始位置に移動し、 ポポボタンを それぞれの会話に合わせて続けてクリックします。 停止ボタンをクリックす ると、字幕が字幕ウィンドウに読み込まれます。
- 単一の字幕を追加するには
 ボタンをクリックします。

字幕を編集する

動画の字幕を編集するには、次の操作を行います。

- タイムラインまたは字幕の一覧で字幕マーカーをダブル クリックして、字幕テキストを入力します。
- ・ 「」ボタンをクリックして、字幕のスタイルを設定します。
- 字幕を削除するには、字幕マーカーを選択して ボタンをクリックします。

注:字幕をエクスポートして SRT ファイルで保存するには、 🔜 をクリックしま す。

テキスト ファイルから字幕をインポートする

をクリックして SRT または TXT 形式のテキスト ファイルから字幕をイン ポートできます。これにより、プログラムの外で作成した字幕や他のソースから、CyberLink PowerDirector にインポートできます。

注:SRT ファイルをインポートすると、字幕は自動作成されます。TXT ファイルを インポートする場合は、まずすべての字幕マーカーを入力する必要があります。

字幕と会話を同期する

CyberLink PowerDirector のオプション機能を使用して、挿入した字幕を動画と 同期させることができます。

字幕の開始時間を設定するには、次の操作を行います。

- 字幕の[開始時間]欄にタイムコードを入力します。
- 字幕トラックで字幕マーカーの開始位置にカーソルを移動し、設定する位置までドラッグします。

字幕の終了時間を設定するには、次の操作を行います。

- ・ 字幕の[終了時間]欄にタイムコードを入力します。
- 字幕トラックで字幕マーカーの終了位置にカーソルを移動し、設定する位置までドラッグします。

第5章:

動画作品を出力する

動画作品が完成したら、出力作業を行います。ここで言う「出力」とは、作品 を再生可能な動画ファイルにコンパイル(レンダリング)することです。 CyberLink PowerDirector では、多様な再生環境に対応できるよう、さまざまな 出力方法を用意しています。

SVRT 情報を表示する

SVRT(スマートビデオレンダリングテクノロジー)とは、動画クリップの変更 済部分(出力時にレンダリングを必要とする部分)と、未変更部分(出力時にレ ンダリングを省略できる部分)を識別する、CyberLink 独自のレンダリング技術 です。[SVRT 情報]を表示すると、出力処理をシミュレートできます。

プロジェクトの SVRT 情報を表示するには、 😡 > [表示] > [SVRT 情報] をク リックします。 詳細は、112 ページの「SVRT が適用される条件」 を参照してく ださい。

SVRTトラックに表示される色は、関連クリップ(またはクリップの一部)の適 用状態を示します。

- ・ 緑:出力中にレンダリングが不要な範囲。
- ・ 青:動画のみレンダリングが必要な範囲。
- ・ 黄:音声のみレンダリングが必要な範囲。
- ・ 赤:音声と動画のレンダリングが必要な範囲。

出力ウィンドウ

[出力]ボタンをクリックすると、出力ウィンドウが開きます。ここでムービー をファイルにコンパイルします。出力したファイルは、メールで送信したり、 YouTube にアップロードしたり、ディスクに書き込んだりできます。

注:作品をそのままディスクに書き込む場合は、[ディスク作成]モジュールに移動します。[ディスク作成]モジュールでは、ディスクメニューを作成したり、作品を出力したり、作品をディスクに書き込んだり、簡単な手順で行えます。



[出力]ボタンをクリックすると、次の出力ウィンドウが開きます。

A - ファイルに出力、B - カムコーダーに出力、C - YouTube にアップロード、D - 出力形式、E -Facebook にアップロード、F - 出力プレビュー、G - 出力詳細、H - 動画プロファイル設定、I -出力の環境設定

[出力]ウィンドウは出力が簡単にできるインターフェイスです。

注:作品を出力する前に、必ずすべての動画クリップが同じインターレース形式で あることを確認してください。これは、完成動画の画質に大きく影響するため、出 力前に必ず実行しなくてはならない重要な作業です。作品の出力後、画質が十分で ない場合は、すべての動画クリップのインターレース形式が同じであることを確認 してください。インターレース形式の異なるクリップが混在している場合は、出力 前に形式を統一してください。詳細は、57ページの「動画クリップのインターレー ス形式を設定する」を参照してください。

[出力]ウィンドウで、実行するタスクに合った出力オプションを選択します。 次のいずれかの出力オプションが選択できます。

タブ	説明
ファイル	動画をファイル (コンピューター、携帯機器で表示) に出力 したり、ディスクに書き込む場合は、[ファイル] タブをク リックします。出力可能なすべての形式が表示されます。詳 細は、88 ページの「ファイルに出力する」を参照してくださ い。
カムコー ダー	動画を DV、HDV、HDD カムコーダーに出力する場合は、[カ ムコーダー] タブをクリックします。詳細は、89 ページの 「カムコーダーに出力する」を参照してください。
YouTube	動画を YouTube にアップロードする場合は、[YouTube] タブ をクリックします。このオプションを選択すると、出力され た動画は YouTube アカウントに直接アップロードされます。 詳細は、91 ページの「動画を YouTube にアップロードする」 を参照してください。
Facebook	動画を Facebook にアップロードする場合は、[Facebook] タブ をクリックします。このオプションを選択すると、出力され たファイルは Facebook のページに直接アップロードされま す。詳細は、92 ページの「動画を Facebook にアップロード する」を参照してください。

注:[編集]ウィンドウで[**バッチ出力**]機能を使用すると、複数の作品を一度にま とめて出力できます。バッチ出力を行うには、 () >[ファイル]>[バッチ出力]を 選択します。

ファイルに出力する

動画をファイルに出力できます。動画ファイルは、コンピューターで再生した り、ディスクに書き込んだり、携帯機器に出力したりできます。動画をファイ ルに出力するには、[ファイル]タブを選択して、出力するファイル形式を選 択します。

動画は次のいずれかの形式で出力できます。

- AVI
- MPEG-1
- MPEG-2
- MPEG-4 portable*
- H.264 AVC
- Windows Media Video
- RealMedia
- QuickTime*

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

動画のプロファイルをカスタマイズする

出力動画のファイル形式を選択すると、選択した形式に合わせて、画質の設定 画面が表示されます。

これらの画質設定(プロファイル)には、動画の解像度、ビットレート、圧縮、 音声圧縮形式などが含まれます。

作品を動画ファイルに出力する前に、新規プロファイルの作成、既存プロファ イルの編集、他の既存プロファイルの選択、ドロップダウンから他のオプショ ンを選択することができます。

出力の環境設定を構成する

ファイルを出力する前に、次の出力設定から選択できます。

注:選択したファイル形式、および CyberLink PowerDirector のバージョンによって、環境設定の内容は異なります。

- 高速ビデオレンダリング技術: [SVRT] および [ハードウェアビデオエン コーダー]は出力時間を短縮するオプションです。[ハードウェアビデオエ ンコーダー]オプションは、CUDA に対応する NVIDIA グラフィックカード または、ATI Stream に対応する ATI グラフィックカードを搭載の場合にのみ 使えます。有効にするには、[編集]環境設定タブの [GPU アクセラレー ション]にチェックします。
- Dolby Digital 5.1: 出力動画ファイルに Dolby Digital 5.1 オーディオを含みたい 場合に、このオプションを選択します。
- 出力中にプレビューを表示:出力中にプレビューを表示する場合に、このオ プションを選択します。このオプションを選択すると、出力にかかる時間が 長くなります。
- x.v.Color: x.v.Color は、普通より広い色範囲が表示できる新しいカラーシス テムです。再生環境が x.v.color に対応している場合に、RGB ディスプレイと 下位互換性のある x.v.color に準拠した高画質のストリームが作成できます。
- 出力後にコンピューターをシャットダウンする:動画出力後にコンピューターを自動的にシャットダウンさせる場合に、このオプションを選択します。

カムコーダーに出力する

作品を DV または HDV テープに出力する場合に、[**カムコーダー**]オプションを 選択します。

注:処理を始める前に、HDV カムコーダー テープの書き込み開始位置を手作業で 設定します。

作品をファイルに出力してから、HDD カムコーダーにコピーすることもできま す。

動画のプロファイルをカスタマイズする

出力先 (DV、HDV*、HDD カムコーダー) を選択すると、選択したオプションに 合わせて、画質の設定画面が表示されます。

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。

これらの画質設定(プロファイル)には、動画の解像度、ビットレート、圧縮、 音声圧縮形式などが含まれます。

作品を出力する前に、新規の画質プロファイルの作成、既存プロファイルの編 集、他の既存プロファイルの選択、ドロップダウンから他のオプションを選択 することができます。

出力の環境設定を構成する

出力する前に、次の出力設定から選択できます。

注:選択したファイル形式、および CyberLink PowerDirector のバージョンによって、環境設定の内容は異なります。

- 高速ビデオレンダリング技術: [SVRT] および [ハードウェアビデオエン コーダー]は出力時間を短縮するオプションです (HDD カムコーダー ファイ ルの作成時にのみ使用可能)。[ハードウェアビデオエンコーダー]オプ ションは、CUDA に対応する NVIDIA グラフィック カードまたは、ATI Stream に対応する ATI グラフィック カードを搭載の場合にのみ使えます。有効に するには、[編集]環境設定タブの [GPU アクセラレーション] にチェックし ます。
- Dolby Digital 5.1: 出力動画ファイルに Dolby Digital 5.1 オーディオを含みたい 場合に、このオプションを選択します (HDD カムコーダー ファイルの作成 時にのみ使用可能)。
- 出力中にプレビューを表示:出力中にプレビューを表示する場合に、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、出力にかかる時間が長くなります。

- 書き込み完了後にファイルを削除する: HD または HDV カムコーダーへの書き込み後に出力した動画ファイルを削除する場合に、このオプションを選択します。
- x.v.Color: x.v.Color は、普通より広い色範囲が表示できる新しいカラーシス テムです (HDD カムコーダー ファイルの作成時にのみ使用可能)。再生環境 が x.v.color に対応している場合に、ディスプレイと下位互換性のある x.v.color に準拠した高画質のストリームが作成できます。
- 出力後にコンピューターをシャットダウンする:動画出力後にコンピューターを自動的にシャットダウンさせる場合に、このオプションを選択します。

動画を YouTube にアップロードする

簡単な手順で、CyberLink PowerDirector から動画作品を YouTube (R) に直接アッ プロードできます。

動画を YouTube (R) にアップロードするには、[YouTube] タブを選択して、必要 事項を入力します。

注:作品の作成手順を公開するには、DirectorZone にログインし、[DirectorZone **に タイムライン情報を公開**]を選択します。DirectorZone にアップロードした動画と一緒にタイムライン情報が表示されます。

動画の画質を選択する

動画を YouTube にアップロードする前に、ドロップダウン リストから動画の画 質を選択します。 YouTube へのアップロードが完了すると、選択した画質に対 応する画質オプションが YouTube の画面に表示されます。

注:YouTubeの画面に表示される画質オプションは、元のキャプチャー画質および 動画を再生する帯域幅によって異なります。

出力の環境設定を構成する

出力する前に、次の出力設定から選択できます。

- 出力中にプレビューを表示:出力中にプレビューを表示する場合に、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、出力にかかる時間が長くなります。
- 出力後にコンピューターをシャットダウンする:動画のアップロード後にコンピューターを自動的にシャットダウンさせる場合に、このオプションを 選択します。

動画を Facebook にアップロードする

簡単な手順で、CyberLink PowerDirector から作品を Facebook (R) に直接アップ ロードできます。

動画を Facebook (R) にアップロードするには、[Facebook] タブを選択し、認証 プロセスを経て、必要事項を入力します。

動画の画質を選択する

動画を Facebook にアップロードする前に、ドロップダウン リストから動画の 画質を選択します。

出力の環境設定を構成する

出力する前に、次の出力設定から選択できます。

- 出力中にプレビューを表示:出力中にプレビューを表示する場合に、このオ プションを選択します。このオプションを選択すると、出力にかかる時間が 長くなります。
- 出力後にコンピューターをシャットダウンする:動画のアップロード後にコンピューターを自動的にシャットダウンさせる場合に、このオプションを 選択します。

第6章:

ディスクを作成する

動画作品の作成が完了したら、[**ディスク作成**]をクリックして、ディスク作 成モジュールを開きます。ディスク作成モジュールでは、作品を簡単な手順で CD、DVD、Blu-ray ディスク (Ultra バージョンのみ)に書き込みできます。他の 動画や CyberLink PowerDirector のプロジェクトをインポートして、プロ品質の ディスク作成もできます。



A-ディスク コンテンツ タブ、B-メニューの環境設定タブ、C-ディスクの環境設定タブ、D-ディスク メニュー プロパティー、E-ディスクに書き込み、F-ディスク メニューのプレ ビュー、G-ディスク切り替え、H-ディスク コンテンツ

ディスクコンテンツをインポートする

[コンテンツ] タブには、すべての動画とプロジェクトが含まれ、ディスクに 書き込みされます。ここには、現在の作品だけでなく、以前にインポートした 動画や、以前に CyberLink PowerDirector で作成したプロジェクトも含まれます。 [コンテンツ] タブで行える設定は次の通りです。

- + をクリックして、ディスクに含む動画をインポートします。
- ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
- [メニュー構造]ボタンをクリックして、ディスクメニューのツリー構造を 表示します。このツリー構造は、ディスクのすべてのタイトルを含み、チャ プターも表示されます。

ディスク メニューに含む CyberLink PowerDirector のプロジェクトをすべてイン ポートしたら、次の機能を実行します。

- ・ をクリックして、選択したタイトルを再生します。
- ・
 ・
 をクリックして、[編集]モジュールで選択したタイトルを編集します。

ディスク メニューの環境設定

[メニューの環境設定] タブをクリックして、既存のディスク メニューを編集 したり、他のメニュー テンプレートを選択します。

CyberLink PowerDirector のメニュー テンプレートはすべてマルチ レイヤー構造 です。ムービーの再生、キャプチャーの選択、字幕の表示切替が可能なテキス ト リンクを含むメイン メニュー ホーム (ルート) ページが付いています。 注:ディスクメニューの字幕ページは、字幕ルームで[**ソフト サブ**]機能を選択した場合にのみ有効です。詳細は、83ページの「字幕」を参照してください。

テンプレートを選択する

CyberLink PowerDirector には複数のテンプレートが実装されています。テンプ レートには、モーションやメニュー音楽が予め設定されているものもありま す。

メニューページ・テンプレートには、以下の2つのタイプがあります。

- チャプター サムネイル ボタンを含むタイプ。
- チャプター テキスト リンクを含むタイプ。

メニュー テンプレートを選択、プレビューして、ディスク作成に使います。特定のメニュー ページにメニュー ページ スタイルを適用する場合は[適用]を選択します。すべてのページに同じスタイルを適用する場合は[すべてのページに適用]を選択します。

注:必要に応じて、DirectorZone からディスク メニュー テンプレートをインポート することもできます。詳細は、25 ページの「DirectorZone からテンプレートをダウ ンロードする」を参照してください。

ディスク メニューの環境設定をカスタマイズする

ディスク メニューの表示や作成の操作ができます。 ディスク メニュー プロパ ティー エリアには、ディスクに書き込まれるディスク メニューが表示されま す。 [**プレビュー**] ボタンをクリックして、書き込みディスクをプレビューし ます。

メニューページやチャプターに表示されるテキストを編集するには、そのテキ ストをダブルクリックすれば変更できます。ディスク メニュー プロパティー エリア上のテキスト プロパティー オプションを使って、メニュー テキスト ス タイル、サイズ、配列を変更します。

ディスクメニューの BGM を設定する

メニュー テンプレートには音楽を含むテンプレートもあります。既存の音楽を 編集したり、 54 をクリックして新しい BGM を追加することもできます。次の 操作を行うこともできます。

- メニューから現在の BGM を削除するには、
- Magic Music からの BGM を追加するには、 Solve をクリックします。詳細は、62 ページの「Magic Music」を参照してください。

最初に再生する動画を追加する

このオプションを使って、作成ディスクに最初に再生する動画(または CyberLink PowerDirector のプロジェクト)を追加します。ディスクをディスク プレーヤーに挿入すると、ディスクメニューが表示される前に、この最初の動 画が自動的に再生されます。この場合、再生中にナビゲーションボタンは利用 できません(スキップや早送りすることはできません)。市販ディスクでは通 常、この部分は著作権情報や警告メッセージが表示されますが、個人的な作品 の場合には、他の動画クリップを利用することができます。 最初の再生クリップを設定する方法は、次の通りです。

- ・
 ・
 をクリックして、対象ファイルを削除します。
 ・
- をクリックして、最初に再生する動画をプレビューします。

再生モードを設定する

ボタンをクリックして、ディスクの再生方法を設定します。リストから使
 用する再生モードを1つ選択します。

注:指定時間ディスクメニューを表示し、その後ディスクコンテンツを自動再生 する場合は、再生モード設定の[**自動メニュー タイムアウト**]オプションを選択し ます。
各ページのボタン数を設定する

複数のタイトルまたはチャプターを含むディスクを作成する場合は、メニュー またはチャプター ページに表示するサムネイルの数を選択します。[**各ページ ボタン数**]のドロップダウンから、表示する数を選択します。

注:表示するサムネイル数を選択したら、それらのサムネイル(およびメニューテ キスト)をメニューの任意の場所に移動することができます。

[サムネイルインデックスの追加]を選択して、サムネイルの番号をメニューページに追加します。

メニュー デザイナーを使用する

メニュー デザイナー * を使うと、選択したディスク メニューのスタイルをカ スタマイズできます。[**メニュー デザイナー**] ボタンをクリックして、選択した メニューのカスタマイズを行います。



A - DirectorZone にアップロード、B - テキスト プロパティー変更タブ、C - テキスト プロパ ティー、D - オブジェクト プロパティー設定タブ、E - カスタム テンプレートの保存、F - ボタ ン プロパティー設定タブ、G - オブジェクトの追加、H - TV セーフ ゾーン / グリッド ゾーン、J - メニュー ページビュー (移動)

注:*CyberLink PowerDirector のオプション機能です。 バージョンの詳細は、 Readme ファイルを参照してください。 メニュー デザイナーを使って、すべてのディスク メニュー ページ (3 メニュー)の編集ができます。特定のページを変更するには、[移動]ドロップダウン メニューから [ルート メニュー]、[タイトル / チャプター メニュー]、[字幕メニュー]のいずれかを選択します。

注:字幕メニューページは、字幕ルームで[**ソフトサブ**]機能を選択した場合にの み有効です。詳細は、83ページの「字幕」を参照してください。

プリセットの文字種を適用する

テキスト プロパティーのタブで、文字プリセットのテンプレートをメニュー テキストに適用できます。 適用後、必要に応じてフォント、シャドウ、境界線 を変更します。

メニュー テキストのフォントをカスタマイズする

テキスト プロパティーのタブで、メニュー テキストのフォントのサイズ、色、 フォントの種類、太さ、位置合わせ、透明度、ぼかしなどをカスタマイズしま す。

シャドウをメニュー テキストに追加する

テキスト プロパティーのタブで、メニュー テキストの周囲にシャドウを追加 できます。オプションを使用して、シャドウの色やサイズを変更したり、透明 効果やぼかし効果を追加することができます。

メニュー テキストに境界線を追加する

テキスト プロパティーのタブで、メニュー テキストの周囲に境界線を追加で きます。オプションを使用して、境界線の色やサイズを変更したり、透明効果 やぼかし効果を追加することができます。

オブジェクト プロパティーを設定する

オブジェクト プロパティーの設定タブでは、すべてのメニュー プロパティー のカスタマイズができます。タブには、メニュー ボタン、ナビゲーション ボタ ン、テキストなど、メニューにあるオブジェクトがすべて一覧表示されます。 オブジェクトの一覧からアイテムを選択すると、そのオブジェクトがプレ ビュー ウィンドウでハイライト表示されます。ハイライトされたオブジェクト に対して、編集、サイズ変更、形の変更、ディスクメニューにおける位置の移 動が行えます。

注:チャプター リンク テキスト付きメニューを作成する場合は、このタブから、 リンク テキストの選択、編集、位置の移動が簡単に行えます。

[**選択したオブジェクトのみを表示**]を選択すると、プロファイル設定時に選 択したオブジェクトのみが表示されます。オブジェクトの追加ボタンは次の通 りです。

- ・ スパー・カスタム画像をディスクメニューにインポートします。
- ・ 一丁一 新しいブランク テキスト枠をディスク メニューに追加します。
- ・
 ・
 ・
 新しいボタンをディスクメニューに追加します。

注: [_____をクリックして、[TV セーフ ゾーン] および [グリッド ライン] をオンに して、メニュー ページのオブジェクトを正確に処理します。

ボタン プロパティーを設定する

ボタン プロパティーの設定タブでは、メニュー デザイナーで、ディスク メ ニューのメニュー ボタンおよびナビゲーション ボタンのカスタマイズができ ます。ボタン フレームのスタイル、ボタンの位置、ハイライトのスタイルを選 択します。

注:チャプター テキスト リンク付きのメニュー テンプレートを選択した場合、カ スタマイズできるのはメニューのナビゲーション ボタンのみです。

ボタン プロパティーの設定タブでは、次のようにエフェクトを設定します。

- ・

 ・

 ・
 をクリックしてチャプター サムネイル ボタンのレイアウトを設定します。
- ・

 ・
 をクリックして、ナビゲーションボタンのスタイルを選択します。[
 カスタムのインポート]を選択して、カスタマイズしたナビゲーションボ
 タンのスタイルをインポートします。

背景画像/動画を置き換える

ディスクメニューの背景画像または動画を置き換えるには、[背景画像/動画の置き換え]ボタンをクリックします。

ビデオ エフェクトを選択する

ディスク メニューに適用するビデオ エフェクトを選択するには、[ビデオ エフェクトの選択]ボタンをクリックします。

ディスク メニュー テンプレートを保存、共有する

ディスク メニュー テンプレートの修正が完了したら、メニュー プロパティー のタブに保存して後で使用したり、DirectorZone にアップロードして共有した りすることができます。

- [共有]をクリックして、カスタマイズしたテンプレートを DirectorZone に アップロードします。
- [保存]をクリックして、修正したテンプレートをディスク作成ウィンドウ のテンプレート セクションに保存します。

ディスクの環境設定

作品をディスクに書き込む前に、[ディスクの環境設定]タブをクリックして、 ディスクの環境設定(ディスクおよび動画ファイル形式、音声形式など)を構 成することをお勧めします。

[ディスクの環境設定]タブで、以下のオプションを設定します。

ディスク形式

動画を書き込むディスク形式を選択します。選択したディスク形式によって、ドロップダウンのオプションは異なります。

動画 / 音声の設定

- ・ 動画録画形式:ディスクの動画録画形式および縦横比を選択します。
- 動画エンコード形式および画質:ディスクの動画エンコード形式よび画質を 選択します。スマートフィットオプションは、使用するディスクの容量に 合わせて、ビットレートを最高画質に自動調整します。
- ・ 音声エンコード形式およびチャンネル:ディスクの音声形式および出力チャンネル数を選択します。

注:表示される動画 / 音声形式オプションは、選択したディスク形式により異なり ます。

 CyberLink TrueTheater Surround を有効にしてステレオ サウンドを強化:
 CyberLink TrueTheater Surround を有効にして BGM を強化する場合に、この オプションを選択します。[リビングルーム]、[シアター]、[スタジアム] から選択します。

ディスクに書き込む

メディアの確保、ストーリーの組立、クリップの編集、オーディオやビジュア ル エフェクトの追加、レイアウトやディスク メニューのカスタマイズなどが 完了したら、ディスクに書き込みます。

完成作品をディスクイメージとして保存しておき、後でディスクに書き込んだり、ハードディスクに DVD フォルダを作成することも可能です。書き込みドラ イブやディスク種類に応じて、同時に複数のオプションを利用することもでき ます。

CyberLink PowerDirector は、以下のディスク形式の書き込みに対応しています。

- DVD: DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
- VCD/SVCD: CD-R、CD-RW
- ・ Blu-ray ディスク *: BD-RE、BD-R

注:書込み用ディスク形式に関する詳細は、101ページの「ディスクの環境設定」 を参照してください。* CyberLink PowerDirector のオプション機能です。バージョン の詳細は、Readme ファイルを参照してください。

ムービーをディスクに書込む

ディスクへの書き込みは、ディスク作成の最終段階です。 ディスクの書き込み が完了したら、ディスクプレーヤーで再生ができます。 [**書き込み**] ボタンをク リックして書込み処理を開始します。

注:書き込み処理には数分かかります。動画の長さや画質およびコンピュータの処 理能力によって異なります。ムービーのレンダリングが完了するまでしばらくお待 ちください。

書き込み設定を行う

初めてディスクに書き込む場合は、**一**日 をクリックして書き込み設定を行います。この設定は、書き込みの際に毎回使用されますが、設定の変更は可能です。

フォルダーを作成する

書き込みウィンドウで[フォルダーの作成]を選択すると、コンピューターに フォルダーを作成して、書込みに必要なすべてのファイルを保存します。この フォルダーは後でディスクに書き込むことができます。

注:フォルダーを作成すると、そのディレクトリ内の既存データはすべて上書きさ れます。

ディスクを消去する

再書き込み可能ディスクは、コンテンツを消去し、書き換えることができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを何度も再利用できます。

ディスクの消去時には、次を選択します。

- [クイック]オプションを選択すると、ディスクに含まれるディスク・イン デックスを消去します。
- [フル]オプションを選択すると、ディスクに含まれる内容をすべて消去します。

第7章:

付録

ここでは、デジタル動画の制作や PowerDirector の操作の際に参考になる情報を掲載します。

ホットキー

CyberLink PowerDirector でホットキーを利用すると、操作がより簡単になります。PowerDirector では、以下のホットキーが利用できます。

システムのホットキー

ホットキー	機能
F1	ヘルプ
Delete	選択したアイテムを削除
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Y	やり直し
Shift + F12	ホットキーの一覧を表示
Alt + スペース	左上隅に最小化したメニューを開く
Alt + F4	CyberLink PowerDirector を終了

プロジェクトのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + N	新規のプロジェクトを作成
Ctrl + O	既存のプロジェクトを開く
Alt + Enter	プロジェクトのプロパティを表示
Ctrl + S	プロジェクトを保存
Ctrl + Shift + S	プロジェクトに名前を付けて保存
Ctrl + Shift + W	新規作業領域

作業領域のホットキー

ホットキー	機能
タブ	タイムライン / ストーリーボードの切り替え
ホーム	クリップ / プロジェクトの開始位置に移動
End	クリップ / プロジェクトの終了位置に移動
,(カンマ)	コマ戻し
(ピリオド)	コマ送り
下方向キー	次の1秒
上方向キー	前の1秒
Alt + 1	Magic Fix 機能を開く
Alt + 2	Magic Motion 機能を開く
Alt + 3	Magic Cut 機能を開く
Alt + 4	Magic Style 機能を開く
Alt + 5	Magic Music 機能を開く
Alt + 6	Magic Movie ウィザードを開く
Ctrl + 右方向キー	トラック (クリップ モード) で次のクリップに移 動
Ctrl + 左方向キー	トラック (クリップ モード) で前のクリップに移 動
Ctrl + C	コピー
Ctrl + X	切り取り
Ctrl + V	貼り付け
+	ルーラーの拡大
-	ルーラーの縮小

ホットキー	機能
Alt + L	マスタービデオ トラック以外のトラックをすべて ロック
Alt + U	トラックのロックをすべて解除
Alt + C	環境設定を開く

スマート ガイドのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + Alt + T	音声トリム オプションの表示
Ctrl + Alt + M	マルチ トリム オプションの表示
F2	PiP デザイナー、パーティクル デザイナー、タイトル デザイナー、エフェクト設定を開く

メイン パネルのホットキー

ホットキー	機能
Alt + F9	キャプチャー モードに切り換え
Alt + F10	編集モードに切り換え
Alt + F11	出力モードに切り換え
Alt + F12	ディスク作成モードに切り換え

ライブラリーのホットキー

ホットキー	機能
F2	メディア ファイル名の変更
F3	メディア ルームを開く
F4	エフェクト ルームを開く
F5	PiP オブジェクト ルームを開く
F6	パーティクル ルームを開く
F7	タイトル ルームを開く
F8	トランジション ルームを開く
F9	音量ミキシング ルームを開く
F10	吹き替え録音ルームを開く
F11	チャプター設定ルームを開く
F12	字幕ルームを開く
Ctrl + Enter	メディアビューアーでメディアを表示
Ctrl + A	すべて選択
Ctrl + Tab	フィルタ間の切り換え
Ctrl + D	シーンの検出
Ctrl + Q	メディア ファイルのインポート
Ctrl + W	メディア フォルダーのインポート

キャプチャーのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + R	録画 / 録音
スペース	DV 再生 / プレビュー 一時停止
Ctrl + /	DV プレビュー停止
Ctrl + , (カンマ)	DV 巻戻し
Ctrl + . (ピリオド)	DV 早送り
Alt + Y	キャプチャーした動画にテキスト キャプ ションを追加

吹き替えのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + H	フェードイン
Ctrl + J	フェードアウト
Ctrl + R	録音開始
Ctrl + /	録音停止

プレビュー ウィンドウのホットキー

ホットキー	機能
スペース	再生 / 一時停止
Ctrl + /	停止
,(カンマ)	コマ戻し
.(ピリオド)	コマ送り
Page Up	クリップ モードに切り換え

ホットキー	機能
Page Down	ムービー モードに切り換え
Ctrl + F	早送り
[開始位置
]	終了位置
Ctrl + Enter	メディア ビューアーで素材を表示
Ctrl + P	プレビューウィンドウでコンテンツのスナップ
	ショットを取得
Ctrl + + (プラス)	音量を上げる
Ctrl + - (マイナス)	音量を下げる
Ctrl + Backspace	ミュート / ミュート オフ
Ctrl + U	システム音量の調整

タイトル デザイナーのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + B	テキストを太字に設定
Ctrl + I	テキストを斜体に設定
Ctrl + L	テキストを左揃え
Ctrl + R	テキストを右揃え

SVRT が適用される条件

SVRTは MPEG-1、MPEG-2、H.264 (Ultra バージョンのみ)、DV-AVI (Type I) 形式の 動画クリップに適用します。以下の適用条件を満たす場合に SVRT は適用されま す。ただし、クリップ(またはクリップの一部)をレンダリングする必要はあ りません。

- フレームレート、フレームサイズ、ファイル形式が出力プロファイルと一致していること。
- ビットレートが出力プロファイルのビットレートに類似していること。
- TV 信号形式が出力プロファイルの TV 信号形式と一致していること。詳しくは、57 ページの「動画クリップのインターレース形式を設定する」を参照してください。

上記の条件をすべて満たした場合のみ SVRT が使えます。上記の条件を満たさな いクリップは、SVRT を使用せずにクリップ全体がレンダリングされます。 以下の条件では、クリップ(またはクリップの一部)は再レンダリングする必 要があるため、SVRT は適用できません。

- タイトルまたはトランジションエフェクトを加える場合
- 動画クリップの色を変更する場合
- ・ 音声プロファイルが出力プロファイルと一致しない場合
- ・ 音声クリップの音量を変更する場合
- 2つの動画クリップを結合する場合(結合されたクリップの前後2秒以内の クリップがレンダリングされます)
- 動画クリップを分割する場合(分割の前後2秒以内のクリップがレンダリン グされます)
- 動画クリップをトリミングする場合(トリミングされたクリップの前後2秒 以内のクリップがレンダリングされます)
- 作品の合計時間が1分以内の場合で、動画にレンダリングが必要な個所が ある場合は、作品全体をレンダリングします。

ライセンスと著作権

ここには、Dolby Laboratories のライセンス契約および著作権情報のみを記載しています。その他のライセンス契約および著作権情報の一覧は、CyberLink PowerDirector Readme ファイルを参照してください。

Dolby Laboratories

Manufactured under license from Dolby Laboratories. 泥 olbyî, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-1997 Dolby Laboratories. All rights reserved.



CyberLink PowerDirector

第8章:

テクニカル サポート

この章では、テクニカルサポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

テクニカル サポートにお問い合わせにな る前に

CyberLink が提供する以下のサポート オプション内容をご参照ください (無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインへ ルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトのサポート ページの「ナレッジベース (FAQ)」を参照 する。

http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do

FAQにはユーザーガイドまたはオンラインヘルプよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

テクニカル サポートに電子メールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあ らかじめご用意ください。

- 登録済み CD キー (CD キーは、CD ケース、箱、または Cyberlink ストアで製 品購入時に受け取った電子メールに明示されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号(通常、ユーザーインターフェイス上の 製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス(キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード)およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容(メッセージの内容はメモするか、スク リーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLinkのWebサポートは、24時間いつでも無料で利用できます。

注: CyberLinkのWebサポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ やコミュニティ フォーラム * を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

注:*コミュニティフォーラムは英語のみのサービスになります。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
中国語(繁体字)	http://tw.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
日本語	http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
イタリア語	http://it.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
フランス語	http://fr.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
スペイン語	http://es.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do

索引

А

AVCHD インポート 29

С

CD キャプチャー元 29 CDトラックの取り込み 29 CUDA 36

D

DirectorZone 48,95 テンプレートのダウンロード 25 概要 4 環境設定 39 編集詳細の共有 91 DV パラメーター 38 DV カムコーダー キャプチャー元 27 DV グリン キャプチャー元 29

Ε

EXIF 57

F

Facebook 87 アップロード先 92 Flickr 24 Freesound 25

G

GPU アクセラレーション 36

Η

HDV カムコーダー キャプチャー元 28

Μ

Magic Cut 61 Magic Fix 59 Magic Motion 59 Magic Motion デザイナー 拡大 / 縮小 61 Magic Movie ウィザード 42, 59 Magic Music 62 Magic Style 61

0

OEM バージョン4

Ρ

PhotoNow! 56 PiP 拡大 / 縮小 15 PiP エフェクト サイズの修正 65

シャドウ65 モーション テンプレート 66 モーションのカスタマイズ 66 モーションの修正 66 位置の変更 65 回転のカスタマイズ 68 共有 68 修正 63 速度 67 透明度 68 保存 68 PiP エフェクトの透明度 68 PiP オブジェクト PiP トラックの追加 20.46 タイムラインに追加 49 ダウンロード 25 概要10 修正 63 PiP デザイナー 63 PiP トラック オブジェクトの追加 49 パーティクル エフェクトの追 加 50 メディアの追加 46 説明 19 追加 20 PowerDirector アップグレード 5 バージョン4 プロジェクト 41 モード 6 環境設定 33

R

RichVideo 57

S

SVRT プロジェクトの表示 85 概要 112 SVRT 情報の更新 85

Т

TrueTheater Surround 102 TV キャプチャー元 28 TV セーフ ゾーン 16, 61, 65, 70, 74, 100

Y

YouTube 87 アップロード先 91 動画画質 91

あ

```
赤目 56
明るさ調節 56
アップグレード 5
アップロード
PiP テンプレート 68
タイトル テンプレート 77
ディスク メニュー テンプレー
ト 101
パーティクル エフェクト テン
プレート 72
動画を Facebook に 92
動画を YouTube に 91
```

し 色 調節 56 インターレース形式、設定 57 インポート ファイル形式 23 ボタン 101 メディア 23 音声 25 画像 24 字幕 84 動画 94 背景画像 101

う

ウィンドウ サイズ変更 13 ウェブカメラ キャプチャー元 29

え

エフェクト トラック エフェクトの追加 49 説明 19 エフェクトの修正 タイトル 72 ビデオ 62 エフェクト、概要 10

お

音楽 ディスク メニュー 96 トラックの追加 48 音楽トラック

クリップの追加 48 説明 19 音声 Magic Music 62 クリップを作業領域に追加48 トラック内のミキシング 78 トリム 54 ノイズ除去 56 ミキサー 79 ミキシング ルーム 11 レベル変更 77 音量の復旧80 吹き替えの録音 81 動画から分離 77 分割 33 音声トラック 音声の追加 48 説明 19 音声の抽出 32 音声のミキシング 79 音声ミキサー 78 音量 キーの追加78 トラック内での変更 78 音量レベルの復旧80

か

回転 動画 57 書き込み フォルダーの作成 103 概要 103 設定 103 書き込み先 DV テープ 89 HDV テープ 89 拡大 / 縮小 15,61 確認の環境設定36 画質15 出力ビデオ 90 出力動画 88 画質/音質 キャプチャー 31 画像 Magic Fix 59 作業領域に追加46 編集 56 カムコーダー AVCHD 29 カラーボード、追加 47 環境設定 33 ディスク メニュー 101 完全消去 104

き

逆再生 動画 56 キャプチャー 1シーン27 CD 29 DV カムコーダー 27 DVD 29 HDV カムコーダー 28 TV 28 ウェブカメラ 29 オプション 31 デジタル TV 28 マイク29 画質 / 音質 30 概要 26 環境設定 37 形式 30

キャプチャーしたコンテンツ 30 共有 Facebook の動画 92 PiP テンプレート 68 YouTube の動画 91 タイトル テンプレート 77 ディスク メニュー テンプレー ト 101 パーティクル エフェクト テン プレート 72 編集詳細 91

<

グリッド ライン 16, 61, 65, 70, 74, 100 クリップの分割 52 クロップ 動画 56 クロマ キー エフェクト 65

け

言語、変更 35

こ

高速消去 104 コンテンツ インポート 94

さ

最初に再生する動画 96 最新機能 2 サイズ変更 13 再フォーカスの適用 56 作業領域 エフェクトを追加 48 クリップの追加 46 サイズ変更 13 ストーリーボード ビュー 21 タイトルを追加 48 タイムラインビュー 18 トランジションを追加 48 拡張 16

L

シーン検出、動画クリップ 32 シーンの検出 32 時間情報 57 システム動作環境7 字墓 インポート 84 トラック19 概要 12 追加 83 同期84 編集 83 シャドウ PiP エフェクト 65 タイトル エフェクト 75 メニュー テキスト 99 出力 DV テープに書き込む 89 Facebook にアップロード 92 HDD カムコーダー ファイルの 作成 89 HDV テープに書き込み 89 YouTube にアップロード 91 ムービー 85 概要 85

環境設定 38

新機能3

複数プロジェクト 88 所要時間 キャプチャー 31 デフォルト 36

す

スタビライザー 56 ストーリーボード 21 スナップショット 15 デフォルト ファイル名 33 デフォルトの保存先 34 スライドショー カスタマイズ 43 デザイナー 42 スライドショー デザイナー 43 スライドショーの作成 42 スローモーション 57

せ

セカンダリー ディスプレイ 16 設定 デフォルトの所要時間 36 元に戻す回数 34 全般の環境設定 34

そ

速度 PiP エフェクト 67 タイトル エフェクト 76 速度、動画 57

た

対応するファイル形式 23 対応ディスク形式 102

タイトル エフェクト アニメーション 75,76 シャドウ75 タイムラインに追加 51 ダウンロード 25 フォントの修正 75 位置の変更 74 概要11 共有 77 速度 76 保存 77 タイトル トラック タイトルの追加 51 説明 19 タイムコード 31,57 タイムライン PiP オブジェクトの追加 49 タイトルエフェクトの追加 51 トラックのロック20 トラックのロック解除 20 トラックの非表示 21 トランジション エフェクトの 追加 51 パーティクル エフェクトの追 加 50 ビデオ エフェクトの追加 49 ビュー 18 メディアの追加 41 概要18 合わせる 14 タイムラインに合わせる14 ダウンロード PiP テンプレート 25 タイトル テンプレート 25 メディア 23 音声 25 画像 24

縦横比 設定 41 調節 58

ち

チャプター サムネイルの設定 83 トラック 19 概要 11 設定 82 チャプター サムネイルの設定 83 チャプターの設定 82

```
つ
```

```
追加
チャプター 11
```

τ

ディスク メニュー カスタマイズ 95 コンテンツのインポート 94 テキスト シャドウ 99 テキストの変更95 テンプレートのスタイル 95 ナビゲーションボタン 101 ビデオ エフェクト 101 プレビュー95 ボタン ハイライト 101 ボタン フレーム 100 ボタン レイアウト 101 ボタンのエフェクト 100 メニュー デザイナー 98 音楽の追加 96 各ページ ボタン数 97 環境設定 101

共有 101 構造 94 最初に再生する動画 96 保存 101 ディスク作成 カスタマイズ 95 テキストの変更 95 プレビュー95 メニュー デザイナー 98 音楽の追加 96 環境設定 101 新機能3 ディスクの消去104 テキスト注釈 31.57 デジタル TV キャプチャー元 28 デフォルトの所要時間、設定36 デュアルプレビュー16

と

動画 Magic Fix 59 Magic Style 61 オーバーレイ 37 クロップ 56 トリム 53, 54 ノイズ除去 56 プレビュー 15 プロファイル 88, 90 音声の分離 77 画質、YouTube 91 回転 57 逆再生 56 強調 56 作業領域に追加 46

速度 57 分割 52 編集 53 動画クリップ シーンの検出 32 音声の抽出 32 トラック ロック20 ロック解除 20 管理 20 説明 19 非表示 21 トラックマネージャー 20 トラック内の音声ミキシング 78 トラックのロック解除 20 トランジション エフェクト タイムラインに追加 51 ランダムに追加する 51 トランジション、概要11 トリム 音声 54 動画 53.54 範囲 20

な

ナビゲーション ボタン 101 ナレーション、録音 81

の

ノイズ除去 動画 56 ノン リアルタイム キャプチャー 31 ノン リアルタイム プレビュー 17

は

ひ

日付キャプション 31,57 ビデオ エフェクト クリップ全体に追加 49 タイムラインに追加 49 ディスク メニュー 101 修正 62 ビデオ トラック カラーボードの追加 47 トランジションの追加 51 メディアの追加 46 説明 19

ふ

ファイル形式 23 ファイルの環境設定 33 フェードアウト 80 フェードイン 80 フォルダーの作成 103 吹き替えの録音 81 吹き替え録音ルーム 11 フレーム固定 57 フレーム挿入 57 プレビュー ウィンドウ 15 ディスクメニュー 95 デュアル 16 画質 15 作品 15 プロファイル 31, 88, 90 分割 音声 33

へ

編集 画像 56 環境設定 35 新機能 2 動画 53

ほ

```
補正 / 強調 56
保存
PiP テンプレート 68
PiP モーション パス 68
タイトル テンプレート 77
ディスク メニュー テンプレー
ト 101
パーティクル エフェクト テン
プレート 72
プリセット文字 77
ボタン
エフェクト設定 100
ナビゲーション 101
```

ハイライト スタイル 101 フレーム スタイル 100 レイアウト 101 各ページ 97 ホットキー 105 ホワイト バランス 56

ま

マイク キャプチャー元 29 マスク 68 マルチトリム 53

み

ミキシング トラック内 78 音声 78 ミュート 音声トラック 55

め

メディアビューアー 17 メディアルーム 10 メニューデザイナー テキスト シャドウ 99 テキストの変更 95 ナビゲーション ボタン 101 ビデオ エフェクト 101 ボタン ハイライト 101 ボタン フレーム 100 ボタン レイアウト 101 ボタンのエフェクト 100 概要 98

も

モーション PiP エフェクト、修正 66 パーティクル エフェクト、修 正 71 画像クリップに追加 59 モーション デザイナー 60 元に戻す回数、設定 34

6

ライブラリー クリップのシーン検出 32 メニュー 13 概要 10 管理 10 ライブラリーの管理 10

IJ

リアルタイム プレビュー 17

る

ルーラーのサイズ変更 14 ルーラー、サイズ変更 14 CyberLink PowerDirector